

(様式第 10)

7 京医病第 1 1 6 号
平成 2 7 年 1 0 月 5 日

厚生労働大臣 殿

京都府公立大学法人
理事長 荒巻 禎一 (印)

京都府立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 2 6 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 6 0 2 - 8 5 6 6 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 4 6 5
氏 名	京都府公立大学法人

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

京都府立医科大学附属病院

3 所在の場所

〒 6 0 2 - 8 5 6 6 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 4 6 5 電話(0 7 5) 2 5 1 - 5 1 1 1

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 <input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 消化器内科 2 循環器内科 3 腎臓内科 4 呼吸器内科 5 内分泌・糖尿病・代謝内科 6 血液内科 7 リウマチ科 8 アレルギー科 9 神経内科 (老年内科)	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科 2 心臓血管外科 3 小児心臓血管外科 4 呼吸器外科 5 内分泌・乳腺外科 6 移植外科 7 小児外科 8 形成外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科 2小児科 3整形外科 4脳神経外科 5皮膚科 6泌尿器科 7産婦人科 8産科 9婦人科 10眼科 11耳鼻咽喉科 12放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 15麻酔科 16救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 2 3 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科 2 病理診断科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
118床	54床	床	床	893床	1,065床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	252人	270人	517.4人	看 護 補 助 者	31人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	3人
歯 科 医 師	5人	24人	29人	理 学 療 法 士	16人	臨 床 検 査 技 師	62人
薬 剤 師	54人	8人	58.9人	作 業 療 法 士	6人	衛 生 検 査 技 師	人
保 健 師	人	人	人	視 能 訓 練 士	9人	そ の 他	人
助 産 師	23人	人	23人	義 肢 装 具 士	人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	人
看 護 師	699人	52人	731.6人	臨 床 工 学 士	14人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	1人
准 看 護 師	人	1人	0.7人	栄 養 士	4人	そ の 他 の 技 術 員	19人
歯 科 衛 生 士	7人	人	7人	歯 科 技 工 士	3人	事 務 職 員	169人
管 理 栄 養 士	9人	5人	13人	診 療 放 射 線 技 師	40人	そ の 他 の 職 員	20人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	20人	眼科専門医	19人
外科専門医	46人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精神科専門医	7人	放射線科専門医	20人
小児科専門医	27人	脳神経外科専門医	8人
皮膚科専門医	7人	整形外科専門医	23人
泌尿器科専門医	14人	麻酔科専門医	32人
産婦人科専門医	11人	救急科専門医	5人
		合 計	250人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	614.7人	2.4人	617.2人
1日当たり平均外来患者数	1283.7人	108.6人	1392.3人
1日当たり平均調剤数	入院：1,100.74 剤、 外来：149.15 剤		
必要医師数			141人
必要歯科医師数			7人
必要薬剤師数			21人
必要(准)看護師数			356人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
			病 床 数	心 電 計	心 電 計	心 電 計
集中治療室	281.67m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	病 床 数	12床	心 電 計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 [移動式の場合] 台 数	61.6m ² 6台	病床数	3床		
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] 床 積 [共用室の場合] 共用する室名	37m ²				
化学検査室	211m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	(主な設備) 生化学自動分析装置、免疫自動分析装置、検体前処理装置、全自動グリコヘモグロビン測定装置、血糖検査機器、多項目自動血球分析装置、凝固検査機器、全自動細胞解析装置			
細菌検査室	99m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	(主な設備) 安全キャビネット、全自動血液培養検査装置、細菌同定検査装置、薬剤感受性検査装置、抗酸菌遺伝子検査装置、抗酸菌液体培養検査装置、			
病理検査室	284m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	(主な設備) 脱脂脱水包埋装置、自動染色機、クライオスタット、硬組織用切断機、自動封入機、顕微鏡システム、画像データベース、バーチャルスライドシステム			
病理解剖室	75m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	(主な設備) L字形ステンレス解剖台、写真撮影装置、ディープフリーザー、消毒装置、マクロ標本棚、体液吸引装置、脱脂脱水包埋装置			
研 究 室	3,868m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート 他	(主な設備) 核磁気共鳴装置、スペクトロメーター、画像解析装置、遠心器、ミクロトーム、光度計、血液分析装置			
講 義 室	616m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート	室数	4室	収容定員	420人
図 書 室	1,082m ²	鉄骨鉄筋 コンクリ ート 他	室数	27室	蔵書数	14,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算 定 期 間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹 介 率	72.5%	逆 紹 介 率	62.6%
算 出 根 拠	A：紹介患者の数	14,749人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	15,220人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	2,867人	
	D：初診の患者の数	24,310人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法	17人
末梢血単核球細胞移植による慢性閉塞性動脈硬化症等に対する血管再生治療	1人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	3人
角膜ジストロフィーの遺伝子解析	7人
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	1人
前眼部三次元画像解析	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	6人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	1人
慢性心不全に対する和温療法	0人
自己口腔粘膜及び羊膜を用いた培養上皮細胞シートの移植術	6人
パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法	1人
術前のホルモン療法及びゾレドロン酸投与の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	141人	・膿疱性乾癬	13人
・多発性硬化症	67人	・広範脊柱管狭窄症	7人
・重症筋無力症	123人	・原発性胆汁性肝硬変	254人
・全身性エリテマトーデス	537人	・重症急性膵炎	14人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	273人
・再生不良性貧血	76人	・混合性結合組織病	109人
・サルコイドーシス	260人	・原発性免疫不全症候群	16人
・筋萎縮性側索硬化症	32人	・特発性間質性肺炎	42人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	347人	・網膜色素変性症	88人
・特発性血小板減少性紫斑病	130人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	66人	・肺動脈性肺高血圧症	163人
・潰瘍性大腸炎	340人	・神経線維腫症	79人
・大動脈炎症候群	29人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	137人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	40人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	13人
・脊髄小脳変性症	70人	・ライソゾーム病	19人
・クローン病	95人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	31人	・脊髄性筋萎縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	329人	・球脊髄性筋萎縮症	6人
・アミロイドーシス	52人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	33人
・後縦靭帯骨化症	142人	・肥大型心筋症	141人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	2人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	43人	・ミトコンドリア病	12人
・ウェゲナー肉芽腫症	27人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	120人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	10人	・黄色靭帯骨化症	61人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	202人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料 (一般)特定機能病院入院基本料 7対1	・ハイリスク分娩管理加算
・(結核)特定機能病院入院基本料 7対1	・退院調整加算
・(精神)特定機能病院入院基本料 13対1	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・救急搬送患者地域連携受入加算
・歯科外来診療環境体制加算	・データ提出加算
・歯科診療特別対応連携加算	・特定集中治療室管理料
・臨床研修病院入院診療加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・救急医療管理加算	・小児入院医療管理料2
・超急性期脳卒中加算	・小児入院医療管理料4
・妊産婦緊急搬送入院加算	・精神科急性期治療病棟入院料1
・診療録管理体制加算	・
・急性期看護補助体制加算	・
・看護補助加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算	・
・感染防止対策加算	・
・患者サポート充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・胎児心エコー法
・高度難聴指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・糖尿病合併症管理料	・皮下連続式グルコース測定
・がん性疼痛緩和指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん患者指導管理料	・神経学的検査
・外来緩和ケア管理料	・補聴器適合検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・ロービジョン検査判断料
・院内トリアージ実施料	・コンタクトレンズ検査料1
・夜間休日救急搬送医学管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・外来放射線照射診療料	・内服・点滴誘発試験
・地域包括診療料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・地域連携診療計画管理料	・画像診断管理加算1
・がん治療連携計画策定料	・遠隔画像診断
・がん治療連携管理料	・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影、ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影又は乳房用ポジトロン断層撮影
・認知症専門診断管理料	・CT撮影及びMRI撮影
・薬剤管理指導料	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料1	・大腸CT撮影加算
・医療機器安全管理料2	・心臓MRI撮影加算
・歯科治療総合医療管理料	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・持続血糖測定器加算	・外来化学療法加算1
・造血器腫瘍遺伝子検査	・無菌製剤処理料
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・検体検査管理加算(IV)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・遺伝カウンセリング加算	・運動器リハビリテーション料(I)
・植込型心電図検査	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・時間内歩行試験	・歯科口腔リハビリテーション料2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・認知療法・認知行動療法	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・医療保護入院等診療料	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・一酸化窒素吸入療法	・両室ペースティング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースティング機能付き植込型除細動器交換術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・大動脈ハルーンパンピング法(IABP法)
・CAD/CAM冠	・補助人工心臓
・歯科技工加算	・経皮的動脈遮断術
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・ダメージコントロール手術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・体外衝撃波胆石破碎術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・腹腔鏡下肝切除術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・生体部分肝移植術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・同種死体肝移植術
・羊膜移植術	・体外衝撃波膀胱石破碎術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・同種死体腓移植術、同種死体腓腎移植術
・網膜再建術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・同種死体腎移植術
・経皮的冠動脈形成術	・生体腎移植術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・膀胱水圧拡張術
・経皮的冠動脈ステント留置術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 膀胱尿管逆流症及び巨大尿管症に対する腹腔鏡下膀胱内手術	・
・ 内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・ 先天性難聴の遺伝子診断	・
・ 難治性眼疾患に対する羊膜移植術	・
・ 腹腔鏡下子宮体がん根治手術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1箇月に12回程度開催
剖 検 の 状 況	剖検症例数 16例 / 剖検率 6.10%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
中枢神経コネクトームを介した新規嚥下障害治療法の開発	山脇 正永	総合診療部	1,560,000	補○委 日本学術振興会
カロテノイド類の生体調節機能に着目した抗メタボ食品提供技術の開発とその効果の実証研究	高木 智久	消化器内科	55,050,000	補○委 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
虚血再灌流障害に対するプレおよびポストコンディショニング効果発現差異の解明	鎌田 和浩	消化器内科	520,000	補○委 日本学術振興会
消化管分子を介して脳神経を活性化する食品機能の解析と応用 腸内環境と脳機能の関連性	鎌田 和浩	消化器内科	3,000,000	補○委 内閣府、農業・食品産業技術総合研究機構
アザチオプリン血中濃度予測バイオマーカーとしてのSLC38A9：機能・有用性解析	内山 和彦	消化器内科	260,000	補○委 日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝疾患の脂質鉄代謝異常に関する新たな解析	光吉 博則	消化器内科	780,000	補○委 日本学術振興会
肝癌の増殖と肝再生におけるApg-2の意義	伊藤 義人	消化器内科	1,690,000	補○委 日本学術振興会
H0-1/CO系を基軸とした抗炎症性マクロファージ誘導と腸管炎症制御機構の解明	高木 智久	消化器内科	1,560,000	補○委 日本学術振興会
脂肪肝における脂肪化肝細胞の免疫原性及び肝内浸潤制御性T細胞についての検討	山口 寛二	消化器内科	1,560,000	補○委 日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害剤を利用した新規免疫細胞療法の開発	石川 剛	消化器内科	1,820,000	補○委 日本学術振興会
HBV組み込みが肝発癌に果たす役割	南 祐仁	消化器内科	1,820,000	補○委 日本学術振興会
食道癌の増幅遺伝子SOX2のAKT経路を介した腫瘍増殖機序の解明と治療への応用	玄 泰行	消化器内科	1,164,683	補○委 日本学術振興会
消化管狭窄におけるNox4由来活性酸素シグナルによる線維化機構の解明と治療応用	井上 健	消化器内科	2,080,000	補○委 日本学術振興会
細胞免疫療法と抑制系免疫チェックポイント阻害剤との併用についての基礎的検討	岡山 哲也	消化器内科	1,300,000	補○委 日本学術振興会
タイトジャンクションを標的としたアスピリン起因性小腸粘膜傷害の予防・治療薬の開発	福居 顕文	消化器内科	910,000	補○委 日本学術振興会
無意識生体計測&検査によるヘルスケアシステムの開発	中西 守	消化器内科	12,539,000	補○委 文部科学省
肺高血圧症の新規治療ターゲット、筋特異的カベオラタンパクMURCの機能解析	小形 岳寛	循環器内科	1,690,000	補○委 日本学術振興会
血管周囲脂肪の胎児プログラミングによる遺伝子発現調節を標的とした動脈硬化予防戦略	山田 浩之	循環器内科	1,040,000	補○委 日本学術振興会
心腎連関を考慮した新しい心不全治療の開発	浅沼 博司	循環器内科	2,600,000	補○委 日本学術振興会

小計

体性細胞から成熟心筋細胞への分化誘導法の構築	五條 理志	循環器内科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
老化に伴う循環器疾患におけるCavinファミリーの作用機構の解明	上山 知己	循環器内科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
カベオラ構成蛋白Cavinファミリーの機能解析による肺高血圧発症機序の解明	中西 直彦	循環器内科	1,950,000	補○ 委	日本学術振興会
筋細胞特異的遺伝子MURCの腹部大動脈瘤モデルにおける機能解析	宮川 浩太郎	循環器内科	1,950,000	補○ 委	日本学術振興会
新規ミトコンドリアタンパクの機能解析と心不全治療への応用	有吉 真	循環器内科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
網羅的自己抗体アレイにより検出された2型糖尿病における膵島膵絶育予測新規自己抗体定量用ELISAの開発	濱口 真英	内分泌・糖尿病・代謝内科	205,000	補○ 委	独立行政法人科学技術振興機構
アンドロゲン低下によるインスリン抵抗性惹起機構の解明	福井 道明	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,950,000	補○ 委	日本学術振興会
制御性T細胞の強化による非アルコール性脂肪肝炎制御の実現とその免疫学的機構の解明	濱口 真英	内分泌・糖尿病・代謝内科	2,730,000	補○ 委	日本学術振興会
血液腫瘍におけるPVT1再構成と相手遺伝子の分子細胞遺伝学的解析ならびに臨床応用	谷脇 雅史	血液内科	1,040,000	補○ 委	日本学術振興会
PDK1制御による多発性骨髄腫の疾患形成分子異常と腫瘍環境支持の包括的制御	黒田 純也	血液内科	2,210,000	補○ 委	日本学術振興会
CMLのオートクライン・パラクラインによる増殖メカニズムの解明と治療的制御の開発	杉谷 未央	血液内科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
関節リウマチの病態に関与する骨髄細胞の解析と新規治療法の開発	川人 豊	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
関節リウマチにおける骨髄細胞の機能と動態の検討	山本 相浩	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,040,000	補○ 委	日本学術振興会
シャルコー・マリー・トゥース病の診療向上に関するエビデンスを構築する研究	中川 正法	神経内科（老年内科）	30,000,000	補○ 委	厚生労働省
わが国で発見された感覚障害を伴う家族性運動ニューロン病の海外学術調査と病態解明	中川 正法	神経内科（老年内科）	5,330,000	補○ 委	日本学術振興会
変異GFAP遺伝子導入アレキサンダー病疾患モデルに対する薬剤効果研究	吉田 誠克	神経内科（老年内科）	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
q space imaging の認知症への臨床応用	牧野 雅弘	神経内科（老年内科）	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
transendocytosis障害による脳小血管病発症機序の解明と治療法開発	水野 敏樹	神経内科（老年内科）	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
ヒトNotch3遺伝子導入ショウジョウバエを用いた脳小血管病の研究	水田 依久子	神経内科（老年内科）	2,340,000	補○ 委	日本学術振興会
iPS細胞から分化誘導したアストロサイトをを用いたアレキサンダー病の病態解明	中川 正法	神経内科（老年内科）	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
本邦における脳静脈血栓症の実態調査と診断・治療指針策定に関する研究	尾原 知行	神経内科（老年内科）	2,560,560	補○ 委	日本学術振興会

小計

筋疾患の診断・病態評価へのアミロイド・タウイメージングの新規応用	能登 祐一	神経内科（老年内科）	2,080,000	補○ 委	日本学術振興会
モデルショウジョウバエを用いたALS病態機序の解明と新規治療法への応用	東 裕美子	神経内科（老年内科）	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
5-アミノレブリン酸（5-ALA）とランタニドナノ粒子（LNP）併用による深部微小癌局在診断技術の構築	大辻 英吾	消化器外科	19,019,000	補○ 委	独立行政法人科学技術振興機構
食道癌に対するテーラーメイド分子標的化学放射線療法の基礎的研究	藤原 斉	消化器外科	1,040,000	補○ 委	日本学術振興会
胃癌の新しい癌抑制遺伝子RUNX3の細胞分化・癌化機構の解明と診断・治療への応用	阪倉 長平	消化器外科	1,040,000	補○ 委	日本学術振興会
胃癌腹膜播種性転移に対する低浸透圧併用による抗癌剤腹腔内投与効果増強の試み	塩崎 敦	消化器外科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
胃癌腹膜播種関連分泌型microRNAの同定と進展機構の解明	市川 大輔	消化器外科	2,210,000	補○ 委	日本学術振興会
ゲノム構造解析による食道癌の新規癌関連遺伝子の同定と臨床応用	小松 周平	消化器外科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
胃癌における細胞外non-coding RNAの包括的解析と治療応用への展開	小西 博貴	消化器外科	2,210,000	補○ 委	日本学術振興会
膵癌腹膜播種に対する新規診断法ならびに新規治療法の開発	村山 康利	消化器外科	2,080,000	補○ 委	日本学術振興会
血漿中のIPMN関連miRNAを指標とした早期膵癌診断法の開発	森村 玲	消化器外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
自己完結型心臓移植に向けた脱細胞化技術を用いた新生心臓の作出	五條 理志	心臓血管外科	4,550,000	補○ 委	日本学術振興会
DIY再生医療を用いて『患者体内で作る』CABG用バイオチューブ代用血管の開発	神田 圭一	心臓血管外科	5,200,000	補○ 委	日本学術振興会
生体内組織形成技術を用い人工物を使用せずに作成する循環器領域への代用組織の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	9,750,000	補○ 委	日本学術振興会
自家生体組織膜で被覆したstent Biocovered stentの開発	坂井 修	心臓血管外科	1,950,000	補○ 委	日本学術振興会
異種動物バイオチューブマトリックスを用いた二段階生体内組織形成技術の開発	神田 圭一	心臓血管外科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
単離ミトコンドリア移植法の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	1,040,000	補○ 委	日本学術振興会
間葉系幹細胞の凝集体導入によるバイオチューブ代用血管移植後の血管壁再構築化促進	山南 将志	心臓血管外科	2,210,000	補○ 委	日本学術振興会
ステントグラフト内挿術後のエンドリークに対するMRIを用いた新しい評価法の開発	山本 経尚	心臓血管外科	1,366,500	補○ 委	日本学術振興会
異種動物バイオチューブマトリックスを用いた二段階生体内組織形成技術の開発	神田 圭一	心臓血管外科	1,583,687	補○ 委	日本学術振興会
患者の体内で自家組織から形成する『微小脈管再建用無吻合バイオチューブ』の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	319,275	補○ 委	日本学術振興会

小計

患者自身の皮下で簡便に作成できる自己の結合組織からなる小口径代用血管の開発	山南 将志	心臓血管外科	630,823	補○ 委	日本学術振興会
多孔質高分子樹脂を用いた低侵襲手術における剥離機器の改良・開発	島田 順一	呼吸器外科	144,152	補○ 委	財団法人大阪科学技術センター (近畿経済産業局)
デスクトップ画面共有を活用したユビキタス画像読影トレーニングシステムの構築	伊藤 和弘	呼吸器外科	1,039,737	補○ 委	日本学術振興会
肺癌の薬剤耐性に関わるパクリタキセル標的分子のプロテオーム解析法による同定	下村 雅律	呼吸器外科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
内分泌療法耐性乳癌におけるエストロゲン付加および枯渇療法の治療効果予測因子の検索	大本 陽子	内分泌・乳腺外科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
化学療法による皮膚障害に対する高濃度水素水の有用性に関する研究	田口 哲也	内分泌・乳腺外科	2,600,000	補○ 委	日本学術振興会
カペントピンによる手足症候群に対するウラシル外用剤の有効性に関する検討	田口 哲也	内分泌・乳腺外科	649,988	補○ 委	日本学術振興会
胸腺若年再生による前臨床大動物での免疫寛容誘導新戦略：宿主骨髄と胸腺外因子の役割	昇 修治	移植・一般外科	6,758,919	補○ 委	日本学術振興会
低出力超音波パルスによる腎尿細管細胞再生促進法の開発	牛込 秀隆	移植・一般外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
腎移植後再発性IgA腎症に対する扁桃腺摘出の有効性に関する研究	吉村 了勇	移植・一般外科	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
ケロイドに対する新規分子標的併用療法の開発	西野 健一	形成外科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
発生学的由来による脂肪組織幹細胞の多様性の解明とそれに基づく再生医療応用の探索	素輪 善弘	形成外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
非侵襲的分子画像を用いたヒト大脳基底核障害における神経回路制御機構の解析	笹島 浩泰	脳神経外科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
脳腫瘍患者の病状説明における芸術的アプローチの応用研究	古野 優一	脳神経外科	2,470,000	補○ 委	日本学術振興会
ストレス応答機構を軸とした変形性関節症に対する分子標的治療の新展開	久保 俊一	整形外科	6,370,000	補○ 委	日本学術振興会
グルココルチコイドによる髄鞘形成機構の解明および髄鞘形成誘導を介した神経再生促進	藤原 浩芳	整形外科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
遺伝子多型解析によるステロイド性大腿骨頭壊死症の予防法の開発	井上 重洋	整形外科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
肩腱板修復における骨髄由来細胞の分化の解明	森原 徹	整形外科	1,690,000	補○ 委	日本学術振興会
脊髄functional MRIを用いた疼痛の定量評価法の確立	小田 良	整形外科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
ダイレクト・リプログラミング法で作成した骨芽細胞移植による骨癒合促進方法の開発	谷口 大吾	整形外科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
転移性骨腫瘍に対する局所制御と骨形成促進を目的とした非手術的新規治療法の開発	村田 博昭	整形外科	1,690,000	補○ 委	日本学術振興会

小計

容量電場刺激を用いた新たな骨粗鬆症治療法の開発	吉田 隆司	整形外科	2,080,000	補○ 委	日本学術振興会
関節軟骨二重造影法の確立－MRIによる軟骨初期変性の可視化を目指して－	生駒 和也	整形外科	2,340,000	補○ 委	日本学術振興会
生理的低酸素環境の再現による軟骨細胞のストレス応答機構の究明	新井 祐志	整形外科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
足部・足関節変形における新しい画像解析法の確立－足部疾患の病態解明を目指して－	徳永 大作	整形外科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
軟骨におけるストレス応答機構と概日リズムとのクロストークの解明	久保 俊一	整形外科	2,080,000	補○ 委	日本学術振興会
光触媒と電磁波を併用した異物関連感染症の制圧	金 郁喆	整形外科	1,690,000	補○ 委	日本学術振興会
足部疾患に対する有限要素法の応用－新しい装具療法の開発－	今井 寛	整形外科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
成長軟骨板損傷に対するMRIを用いた画像評価法と成長軟骨再生医療の開発	岡 佳伸	整形外科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
膜型エストロゲン受容体GPR30を用いた末梢神経における髄鞘形成活性化機構の解明	森崎 真介	整形外科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
癒痕治癒に依存しない積極的筋損傷治療法の開発－線維芽細胞阻害に着目して－	中川 周士	整形外科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
細胞間コミュニケーションの制御を軸とした関節リウマチの新たな治療戦略	土田 真嗣	整形外科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
ストレス応答機構を軸とした変形性関節症に対する分子標的治療の新展開	久保 俊一	整形外科	1,274,841	補○ 委	日本学術振興会
グルココルチコイドによる髄鞘形成機構の解明および髄鞘形成誘導を介した神経再生促進	藤原 浩芳	整形外科	1,053,846	補○ 委	日本学術振興会
子宮内膜症性卵巣嚢胞からの悪性転化組織を用いた遺伝子変異と異常発現の解析	北脇 城	産婦人科	780,000	補○ 委	日本学術振興会
子宮体癌におけるEMT機構の解明とこれを標的とする新たな内分泌療法の意義の確立	森 泰輔	産婦人科	2,080,000	補○ 委	日本学術振興会
難治性角結膜疾患に対する培養自家口腔粘膜上皮シート移植	木下 茂	眼科	59,998,000	補○ 委	厚生労働省
重症多型滲出性紅斑眼障害の克服に向けた新規医療器具の開発	外園 千恵	眼科	91,500,000	補○ 委	厚生労働省
緑内障統合的分子診断法の確立と実証	木下 茂	眼科	14,103,000	補○ 委	厚生労働省
培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮再生医療の実現化	木下 茂	眼科	81,900,000	補○ 委	厚生労働省
培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮再生医療の実現化	木下 茂	眼科	43,000,000	補○ 委	独立行政法人科学技術振興機構
高速・高精度計測技術を応用した脳神経疾患スクリーニング手法の開発	渡辺 彰英	眼科	1,300,000	補○ 委	独立行政法人科学技術振興機構

小計

21

培養ヒト角膜内皮細胞移植による再生医療事業化	木下 茂	眼科	30,949,100	補委○	独立行政法人科学技術振興機構
SJS/TENの発症機序解明および発症予測に向けた国際的研究	外園 千恵	眼科	6,110,000	補委○	日本学術振興会
角膜内皮細胞亜集団間コミュニケーションによる相転移制御の分子実態解明	木下 茂	眼科	6,760,000	補委○	日本学術振興会
カスタムチップを用いた既知の原発開放隅角緑内障関連遺伝子に対する候補遺伝子解析	森 和彦	眼科	1,690,000	補委○	日本学術振興会
性ホルモンによるヒトマイボーム腺および眼表面の制御調節機構の解明	鈴木 智	眼科	1,560,000	補委○	日本学術振興会
涙液油層の動態特性を決定するマイボーム腺脂質の分子機構の解明	横井 則彦	眼科	1,300,000	補委○	日本学術振興会
眼瞼手術が自発性瞬目と涙液量に及ぼす影響の解明と機能性流涙の新しい術式の開発	渡辺 彰英	眼科	1,950,000	補委○	日本学術振興会
原発開放隅角緑内障における視野障害パターン別全ゲノム解析	池田 陽子	眼科	1,690,000	補委○	日本学術振興会
エキソーム解析と細胞形質評価によるフックス角膜内皮ジストロフィの病因と病態の解明	上野 盛夫	眼科	1,300,000	補委○	日本学術振興会
再生医療による眼表面粘膜バリアーの再構築と重症瘢痕性疾患への応用	稲富 勉	眼科	1,950,000	補委○	日本学術振興会
屈折異常への神経補償の解明と治療への応用	稗田 牧	眼科	650,000	補委○	日本学術振興会
幼児期に機能するRNA干渉に依拠するヒト角膜内皮細胞の相転移制御技術の創出	戸田 宗豊	眼科	1,820,000	補委○	日本学術振興会
脂質メタボロミクスによる眼表面炎症疾患の病態解明ならびに疾患マーカーの探索	木下 茂	眼科	1,820,000	補委○	日本学術振興会
エネルギー応答を指標とする角膜内皮障害の創薬標的と早期診断基盤技術の開発	外園 千恵	眼科	1,560,000	補委○	日本学術振興会
眼サルコイドーシスにおける疾患特異的抗原の解明	小嶋 健太郎	眼科	1,690,000	補委○	日本学術振興会
補体活性化抑制因子産生の偏奇に係る分子機序の解明によるAMDの斬新な早期診断法	米田 一仁	眼科	2,080,000	補委○	日本学術振興会
膠様滴状角膜ジストロフィにおけるタイトジャンクション構成機構の解明	中司 美奈	眼科	2,210,000	補委○	日本学術振興会
角膜におけるRSP01の恒常性維持機構	永田 真帆	眼科	2,210,000	補委○	日本学術振興会
サルコイドーシスの病態解明	永田 健児	眼科	1,950,000	補委○	日本学術振興会
加齢黄斑変性における網膜色素上皮の機能的相転移の解析とエピジェネティックな制御	畑中 宏樹	眼科	1,950,000	補委○	日本学術振興会
眼型粘膜類天疱瘡の病態に関するマクロファージと制御性T細胞の関与	福本 暁子	眼科	2,340,000	補委○	日本学術振興会

小計

近赤外眼底自発蛍光を用いた非侵襲的眼底イメージング手法の開発	山岸 哲哉	眼科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
近赤外眼底自発蛍光を用いた非侵襲的眼底イメージング手法の開発	山岸 哲哉	眼科	581,374	補○ 委	日本学術振興会
加齢黄斑変性におけるエピジェネティックな調節機構の正常化	畑中 宏樹	眼科	821,200	補○ 委	日本学術振興会
感冒薬による重症薬疹発症に関わる遺伝素因の同定ならびに病態の解明	上田 真由美	眼科	50,000,000	補 委○	文部科学省
To11様受容体を標的とする痒みの新規外用薬の開発	峠岡 理沙	皮膚科	156,000	補 委○	独立行政法人科学技術振興機構
自然炎症がアトピー性皮膚炎の発症と慢性化に果たす役割の分子機構の解明	加藤 則人	皮膚科	1,690,000	補○ 委	日本学術振興会
血小板により誘導される炎症の制御機構の解明とそれに基づく新規治療法の開発	峠岡 理沙	皮膚科	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
皮膚表皮細胞におけるポドプラニンの機能解析	浅井 純	皮膚科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
データベース化を目指したヒトメラノーマMitf-M特異的分子標的療法の開発	中井 章淳	皮膚科	2,860,000	補○ 委	日本学術振興会
データベース化を目指したヒトメラノーマ特異的RNA干渉分子療法の開発	中井 章淳	皮膚科	796,377	補○ 委	日本学術振興会
一酸化窒素供与剤併用による新規腎癌治療法の開発	本郷 文弥	泌尿器科	910,000	補○ 委	日本学術振興会
磁性ナノビーズを用いた前立腺癌におけるタキサン系抗癌剤耐性獲得機序の解明	高羽 夏樹	泌尿器科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
前立腺癌密封小線源治療における恥骨干渉克服のための包括的線源挿入技術の開発	沖原 宏治	泌尿器科	910,000	補○ 委	日本学術振興会
羊膜を基質として作成した培養口腔粘膜シートを用いた尿路再建法の開発	内藤 泰行	泌尿器科	1,690,000	補○ 委	日本学術振興会
MRTF分子による細胞骨格制御シグナルを標的とした前立腺癌転移抑制法の探求	三木 恒治	泌尿器科	1,690,000	補○ 委	日本学術振興会
ナノ磁性ビーズを用いたmTOR阻害薬の抗腫瘍効果メカニズムの解析	大石 正勝	泌尿器科	1,690,000	補○ 委	日本学術振興会
喉頭神経機構とその破綻への対応	久 育男	耳鼻咽喉科	4,030,000	補○ 委	日本学術振興会
蝸牛感覚上皮の組織構築とバリア機能ー頂側結合の役割に関してー	坂口 博史	耳鼻咽喉科	2,600,000	補○ 委	日本学術振興会
喉頭挙上筋電気刺激に伴う延髄嚙下中枢の可塑性に関する研究	杉山 庸一郎	耳鼻咽喉科	1,950,000	補○ 委	日本学術振興会
生物情報科学的手法で同定したSEPT11の頭頸部癌における機能解析、治療への応用	辻川 敬裕	耳鼻咽喉科	977,499	補○ 委	日本学術振興会
内耳有毛細胞におけるRac分子種の機能解明と進行性難聴治療への応用	中村 高志	耳鼻咽喉科	2,080,000	補○ 委	日本学術振興会

小計

精神科入院患者における薬剤性有害事象及び薬剤関連エラーの研究	綾仁 信貴	精神科・心療内科	1,000,000	補○ 委	ファイザーヘルスリサーチ振興財団
高齢統合失調症患者の医療同意能力評価および支援方法の開発	加藤 佑佳	精神科・心療内科	1,000,000	補○ 委	ファイザーヘルスリサーチ振興財団
セロトニン神経系の障害をともなう精神疾患における意思決定神経基盤の解明	成本 迅	精神科・心療内科	4,810,000	補○ 委	文部科学省
高齢発症の幻覚・妄想症状の発現に関与する因子の解明	松岡 照之	精神科・心療内科	1,500,000	補○ 委	阪本精神疾患研究財団
認知症高齢者の医療選択をサポートするシステムの開発	成本 迅	精神科・心療内科	7,550,400	補 委○	独立行政法人科学技術振興機構
高齢者の地域生活を健康時から認知症に至るまで途切れなくサポートする法学、工学、医学を統合した社会技術開発拠点	成本 迅	精神科・心療内科	18,590,000	補 委○	独立行政法人科学技術振興機構
安静時fMRIを用いた強迫性障害患者の治療最適化ツール開発	酒井 雄希	精神科・心療内科	855,000	補 委○	独立行政法人科学技術振興機構
インターネット依存の強迫性に注目した神経画像研究	福居 顯二	精神科・心療内科	2,080,000	補○ 委	日本学術振興会
マルチモーダル・イメージングを用いた強迫性障害における島皮質関連神経基盤の解明	中前 貴	精神科・心療内科	650,000	補○ 委	日本学術振興会
地域に根差したがん患者の精神的サポートシステムの開発	羽多野 裕	精神科・心療内科	780,000	補○ 委	日本学術振興会
孤独感に注目したBPSDに対する非薬物療法の開発	松岡 照之	精神科・心療内科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
オプトジェネティクスを応用した特異的セロトニン神経刺激による強迫性障害の病態解明	酒井 雄希	精神科・心療内科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
摂食障害患者家族の疾患心理教育および交流会プログラムによる効果についての実証研究	水原 祐起	精神科・心療内科	1,119,740	補○ 委	日本学術振興会
PTSDモデル動物におけるNFκBを標的としたバイオマーカー探索研究	吉井 崇喜	精神科・心療内科	383,502	補○ 委	日本学術振興会
呼気中一酸化窒素測定による胸部放射線治療後放射線肺臓炎の早期発見・治療効果判定	山崎 秀哉	放射線科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
前立腺肥大症に対する経皮的凍結療法：隣接臓器と周囲組織への影響の検討	田中 治	放射線科	4,030,000	補○ 委	日本学術振興会
拡散強調画像を利用した側脳室内脳脊髄液の温度測定における基礎的検討	赤澤 健太郎	放射線科	97,297	補○ 委	日本学術振興会
肺スリガラス結節に対する媒体注入下凍結療法の基礎的研究	三浦 寛司	放射線科	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
胎児機能不全におけるIVIM-DWIを用いた新しい胎児臓器血流評価法の検討	西田 香織	放射線科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
呼気中一酸化窒素測定による胸部放射線治療後放射線肺臓炎の早期発見・治療効果判定	山崎 秀哉	放射線科	930,901	補○ 委	日本学術振興会
糖尿病の進行度が脳内アミロイド沈着及び糖代謝に及ぼす影響—PETによる検討—	松島 成典	放射線科	524,980	補○ 委	日本学術振興会

小計

媒体注入下の肺スリガラス結節に対するラジ オ波焼灼療法の基礎的・臨床的研究	三浦 寛司	放射線科	137,339	補○ 委	日本学術振興会
複数b値拡散強調像を用いた単純MRIによ る新しい乳腺病変質的診断法の開発	後藤 真理子	放射線科	1,727,441	補○ 委	日本学術振興会
グラム陰性菌のV抗原及びその相同タンパク に対する血清疫学調査	佐和 貞治	麻酔科	5,330,000	補○ 委	日本学術振興会
術後譫妄と覚醒意識レベル評価のためのα波 に関する後頭前頭誘導脳波の同時解析	林 和子	麻酔科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
椎間板性腰痛における疼痛発症メカニズムの 解明	伊吹 京秀	麻酔科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
侵襲的人工呼吸に対する上皮細胞骨格応答メ カニズムの解明と治療への応用	橋本 壮志	麻酔科	1,040,000	補○ 委	日本学術振興会
周術期抗血小板薬効果モニタリングのための 血小板由来microRNA発現解析の検討	中山 力恒	麻酔科	2,080,000	補○ 委	日本学術振興会
オピオイドはTLR4を介して急性肺障害を増悪 させるか？	松山 広樹	麻酔科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
炎症消退脂質分子とオートファジー誘導にお ける術後回復力強化について	影山 京子	麻酔科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
新規神経栄養因子MANFの小胞体ストレス軽減 作用を介した神経障害性痛治療の可能性	天谷 文昌	麻酔科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
単一ドメイン抗体によるグラム陰性菌Ⅲ型病 原毒性の抑制探索	佐和 貞治	麻酔科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
急性肺傷害が及ぼすマクロファージ内m i c r o R N A発現変化と遺伝子治療への展開	竹下 淳	麻酔科	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
β遮断薬が及ぼす心臓手術周術期の心筋細胞 内小胞体ストレス変化と遺伝子治療への応用	谷口 文香	麻酔科	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
流動力学環境下に観察する新規抗凝固薬の抗 血栓性と、急性拮抗薬の決定	小川 覚	麻酔科	2,860,000	補○ 委	日本学術振興会
敗血症病態におけるmicroRNAによる単球系細 胞内小胞体ストレス制御機序の解明	石井 祥代	麻酔科	2,860,000	補○ 委	日本学術振興会
グラム陰性菌のV抗原及びその相同タンパク に対する血清疫学調査	佐和 貞治	麻酔科	3,224,045	補○ 委	日本学術振興会
術後譫妄と覚醒意識レベル評価のためのα波 に関する後頭前頭誘導脳波の同時解析	林 和子	麻酔科	1,700,934	補○ 委	日本学術振興会
炎症消退脂質分子とオートファジー誘導にお ける術後回復力強化について	影山 京子	麻酔科	1,330,598	補○ 委	日本学術振興会
急性肺傷害が及ぼすマクロファージ内m i c r o R N A発現変化と遺伝子治療への展開	竹下 淳	麻酔科	1,457,535	補○ 委	日本学術振興会
β遮断薬が及ぼす心臓手術周術期の心筋細胞 内小胞体ストレス変化と遺伝子治療への応用	谷口 文香	麻酔科	2,363,827	補○ 委	日本学術振興会
m T O Rを介した末梢神経プロテオームの変 化による疼痛発症のメカニズム解析	天谷 文昌	麻酔科	282,745	補○ 委	日本学術振興会

小計

転写因子C/EBPβによる好中球造血・機能制御の解析に基づく敗血症病態の解明	志馬 伸朗	麻酔科	792,030	補○ 委	日本学術振興会
急性肺損傷における肺上皮被覆液プロテオームの解析	佐和 貞治	麻酔科	935,735	補○ 委	日本学術振興会
がん診療拠点病院におけるがん疼痛緩和に対する取り組みの評価と改善に関する研究	細川 豊史	疼痛・緩和ケア科	29,250,000	補○ 委	厚生労働省
タキサン系抗癌剤による末梢神経障害性疼痛の予防・治療法の開発	上野 博司	疼痛・緩和ケア科	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
ノン・ハイリスク群小児悪性固形腫瘍の安全性と治療後QOLの向上への新たな標準治療法開発のための多施設共同臨床研究	細井 創	小児科	49,920,000	補 委○	厚生労働省
小児固形悪性腫瘍の非侵襲的診断と新規治療開発のためのトランスレーショナルリサーチ	細井 創	小児科	13,000,000	補○ 委	日本学術振興会
拡散テンソル画像を用いた早産児の発達予後の評価	森本 昌史	小児科	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
ラブドイド腫瘍における薬剤耐性機序のエピゲノム解析と新規治療法の開発	桑原 康通	小児科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
血中分泌型microRNAを用いた横紋筋肉腫転移メカニズムの解明	土屋 邦彦	小児科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
スーパーハイリスク神経芽腫における再発機構の解明	家原 知子	小児科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
小児肥満におけるグレリンおよびグレリン受容体遺伝子多型と食行動習慣の関連解析	中島 久和	小児科	650,000	補○ 委	日本学術振興会
小児がんにおける地固め療法としてのペプチドワクチン療法の確立	細井 創	小児科	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
疾患特異的iPS細胞を用いた早期乳児てんかん性脳症の病態解明と薬剤評価系の構築	千代延 友裕	小児科	2,210,000	補○ 委	日本学術振興会
HMG2がん遺伝子を標的とした新規治療法の開発	宮地 充	小児科	1,950,000	補○ 委	日本学術振興会
ETP-ALLに対する新規治療の開発	吉田 秀樹	小児科	2,860,000	補○ 委	日本学術振興会
細胞周期に伴ったPAX3-FOXO1A発現量の変化とその意義の解明	菊地 顕	小児科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
iPS細胞技術を用いたガンマグロブリン不応川崎病に対する新規治療標的分子の同定	池田 和幸	小児循環器・腎臓科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
川崎病における脱分化平滑筋による壁硬化メカニズムの解明及び新規予防法の開発	丹羽 陽子	小児循環器・腎臓科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
小児期急性腎障害(AKI)後の慢性腎臓病(CKD)への進展に関する基礎的検討	西田 眞佐志	小児循環器・腎臓科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
川崎病血管炎の炎症増悪因子としてのマンノース結合蛋白質に関する実験病理学的研究	浜岡 建城	小児循環器・腎臓科	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
非受容体型チロシンキナーゼPYK2を分子標的とする川崎病新規治療法の開発	中村 明宏	小児循環器・腎臓科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会

小計

冠動脈プロテオミクス解析による川崎病バイオマーカーの探索	河井 容子	小児循環器・腎臓科	2,210,000	補○ 委	日本学術振興会
新化合物ジクロロアセチルカルニチンの虚血後再灌流臓器障害抑制効果の検討	糸井 利幸	小児循環器・腎臓科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
多能性幹細胞からの高分化型刺激伝導系心筋細胞の開発	周藤 文明	小児循環器・腎臓科	24,126	補○ 委	日本学術振興会
神経芽腫病期4sのiPS細胞疾患モデルによる同時多発・自然退縮メカニズムの解析	文野 誠久	小児外科	1,690,000	補○ 委	日本学術振興会
先天性横隔膜ヘルニアモデルにおける胎児治療の開発	坂井 宏平	小児外科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
トランスジェニックマウスを用いた小児がんに対する新規免疫遺伝子治療法の開発	田尻 達郎	小児外科	672,621	補○ 委	日本学術振興会
ポリテトラフルオロエチレン超薄型肺動脈弁と洞付き人工血管の開発	山岸 正明	小児心臓血管外科	1,690,000	補○ 委	日本学術振興会
先天性心疾患外科治療におけるポリテトラフルオロエチレン製肺動脈代用弁の研究	宮崎 隆子	小児心臓血管外科	2,340,000	補○ 委	日本学術振興会
先天性心疾患の外科治療における、自己結合組織を用いた肺動脈拡大形成術の試み	山本 裕介	小児心臓血管外科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
臨床応用を目指した羊膜を基質とした培養骨膜由来細胞シートに関する基礎的研究	金村 成智	歯科	1,690,000	補○ 委	日本学術振興会
歯周病原細菌による菌血症モデルを用いた心血管系疾患の発症メカニズムの検討	藤野 あかね	歯科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
羊膜上培養歯髓由来細胞シートを用いた新規骨再生医療に関する研究	山本 俊郎	歯科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
口腔粘膜炎に対する予防・治療を目指したβ-クリプトキサンチンの検討	大迫 文重	歯科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
羊膜上培養歯根膜由来細胞シートを用いた新たな骨再生医療に関する基礎的研究	雨宮 傑	歯科	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
歯槽骨再生治療へのダイレクト・リプログラミング技術の応用	山本 健太	歯科	1,950,000	補○ 委	日本学術振興会
ナノゲルを用いた口腔癌の新規免疫療法の開発	足立 哲也	歯科	1,690,000	補○ 委	日本学術振興会
唾液ストレスマーカーと歯牙喪失、および全身疾患との関連に対する研究	松井 大輔	地域保険医療疫学(歯科)	2,080,000	補○ 委	日本学術振興会
脳血管障害とコラーゲン結合蛋白を産生するう蝕原性細菌の関連の解明	渡邊 功	地域保険医療疫学(歯科)	1,950,000	補○ 委	日本学術振興会
異なる夜間勤務体制が医師の睡眠と自律神経活動に与える影響を比較検討する研究	安 炳文	救急医療科	650,000	補○ 委	日本学術振興会
音楽および音声が救急蘇生法の質に与える影響に関する挑戦的萌芽研究	山畑 佳篤	救急医療科	1,040,000	補○ 委	日本学術振興会
熱中症の低リスク群および死亡事例におけるリスク因子の検討	宮森 大輔	救急医療科	910,000	補○ 委	日本学術振興会

小計

多血小板血漿と生体吸収性材料を用いた脊椎固定術の開発 —臨床応用への橋渡し研究—	池田 巧	リハビリテーション科	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
mTOR阻害による寿命延長効果を応用した新規椎間板再生法の確立	三上 靖夫	リハビリテーション科	1,820,000	補○ 委	日本学術振興会
腎肺クロストークを介した人工呼吸器誘発性腎障害のメカニズム解明	橋本 悟	集中治療部	3,380,000	補○ 委	日本学術振興会
急性肺傷害に対するレゾルビン内包化陰性電荷リポソーム吸入療法の開発	田畑 雄一	集中治療部	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
急性肺傷害における肺被覆液中の炎症消退脂質分子のLC-ESI-MS(n)解析	徳平 夏子	集中治療部	2,401,114	補○ 委	日本学術振興会
ミラーセラピーによる脳梗塞急性期の可塑的修復過程のメカニズムの解明	近藤 正樹	リハビリテーション部	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
肉腫に対する熱ストレス蛋白抑制技術を用いた断端処理方法の開発	寺内 竜	リハビリテーション部	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
喉頭、気管ケミカルメディエーター受容体発現の日内変動の解析	板東 秀樹	リハビリテーション部	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
多施設における原発性骨腫瘍の臨床病理学的検討	小西 英一	病院病理部	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
造血器腫瘍におけるゲノム構造異常とキメラ転写産物の多様性の解明と臨床応用	滝 智彦	遺伝子診療部	1,690,000	補○ 委	日本学術振興会
消化管機能分子と血清タンパク質の系統的解析による抗糖尿病機能性糖鎖の開発	内藤 裕二	内視鏡・超音波診療部	24,050,000	補 委○	独立行政法人科学技術振興機構
大腸筋線維芽細胞に発現するNADPHオキシダーゼ4(Nox4)の消化管線維化における意義と新規治療法の開発	内藤 裕二	内視鏡・超音波診療部	1,000,000	補○ 委	日本応用酵素協会
大腸筋線維芽細胞に発現するNADPHオキシダーゼ4(Nox4)の消化管線維化における意義と新規治療法の開発	内藤 裕二	内視鏡・超音波診療部	1,000,000	補○ 委	日本応用酵素協会
Hsp27とSPARC蛋白質の同定・機能解析と大腸癌における意義解明	内藤 裕二	内視鏡・超音波診療部	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	

小計
14
合計
243

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Wataru Fukuda	消化器内科	Anti-inflammatory effects of carbon monoxide-releasing molecule on trinitrobenzene sulfonic acid-induced colitis in mice	Digestive Diseases and Sciences 59 (8), 1142-51, 2014.
2	Yasuki Higashimura	消化器内科	Preventive effect of agaro-oligosaccharides on non-steroidal anti-inflammatory drug-induced small intestinal injury in mice	Journal of Gastroenterology and Hepatology 29 (2) 310-7, 2014.
3	Ken Inoue	消化器内科	L-menthol improves adenoma detection rate during colonoscopy: a randomized trial	Endoscopy 46 (3) 196-202, 2014.
4	Takeshi Ishikawa	消化器内科	Phase I clinical trial of fibronectin CH296-stimulated T cell therapy in patients with advanced cancer	PloS One 9 (1) e83786, 2014.
5	Reiko Kimura-Tsuchiya	消化器内科	The inhibitory effect of heat treatment against epithelial-mesenchymal transition (EMT) in human pancreatic adenocarcinoma cell lines	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition 55 (1) 59-61, 2014.
6	Po Hung Liu	消化器内科	The astaxanthin-induced improvement in lipid metabolism during exercise is mediated by a PGC-1alpha increase in skeletal muscle	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition 54 (2) 86-9, 2014.
7	Kazuhiko Uchiyama	消化器内科	Analysis of cardiopulmonary stress during endoscopy: Is unsedated transnasal esophagogastroduodenoscopy appropriate for elderly patients?	Canadian Journal of Gastroenterology 28 (1), 31-4, 2014.
8	Kazuhiko Uchiyama	消化器内科	New genetic biomarkers predicting azathioprine blood concentrations in combination therapy with 5-aminosalicylic acid	PLoS One 9 (4), e95080, 2014.
9	Akira Okajima	消化器内科	Drug-induced liver injury in a chronic hepatitis C patient treated by peginterferon, ribavirin and simeprevir.	Hepatology Research. 2015 Jan 9.
10	Kohichiroh Yasui	消化器内科	Effect of PNPLA3 rs738409 variant (I148M) on hepatic steatosis, necroinflammation, and fibrosis in Japanese patients with chronic hepatitis C.	Journal of Gastroenterology. 2015 Aug;50(8):887-93.
11	Yuya Seko	消化器内科	Serum alanine aminotransferase predicts the histological course of non-alcoholic steatohepatitis in Japanese patients.	Hepatology Research. 2014 Nov 27.
12	Yoshio Sumida	消化器内科	Lower levels of insulin-like growth factor-1 standard deviation score are associated with histological severity of non-alcoholic fatty liver disease.	Hepatology Research. 2015 Jul;45(7):771-81.

13	Kanji Yamaguchi	消化器内科	Blockade of interleukin 6 signalling ameliorates systemic insulin resistance through upregulation of glucose uptake in skeletal muscle and improves hepatic steatosis in high-fat diet fed mice.	Liver International. 2015 Feb;35(2):550-61.
14	Yoshio Sumida	消化器内科	Limitations of liver biopsy and non-invasive diagnostic tests for the diagnosis of nonalcoholic fatty liver disease/nonalcoholic steatohepatitis.	World Journal of Gastroenterology. 2014 Jan 14;20(2):475-85.
15	Naohisa Yoshida	消化器内科、化学療法部	The ability of a novel blue laser imaging system for the diagnosis of invasion depth of colorectal neoplasms	Journal of Gastroenterology 49 (1), 73-80, 2014.
16	Naohisa Yoshida	消化器内科、化学療法部	Prevention of colonic spasm using L-menthol in colonoscopic examination	International Journal of Colorectal Disease 29, 579-83, 2014.
17	Naohisa Yoshida	消化器内科、化学療法部	Endoscopic mucosal resection for middle and large colorectal polyps with a double-loop snare	Digestion 90 (4), 232-9, 2014.
18	Naohisa Yoshida	消化器内科、化学療法部	Ability of a novel blue laser imaging system for the diagnosis of colorectal polyps	Digestive Endoscopy 26 (2), 250-8, 2014.
19	Kojima, Akiteru	循環器腎臓内科	A protective role of Nox1/NADPH oxidase in a mouse model with hypoxia-induced bradycardia.	Journal of Pharmacological Sciences. 2015; 127(3):370-376.
20	Fukai, Kuniyoshi	循環器腎臓内科	Pyk2 aggravates hypoxia-induced pulmonary hypertension by activating HIF-1 α .	American Journal of Physiology Heart and Circulatory Physiology. 2015; 308(8):H951-H959.
21	Wakana, Noriyuki	循環器腎臓内科	Maternal high-fat diet exaggerates atherosclerosis in adult offspring by augmenting periaortic adipose tissue-specific proinflammatory response.	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology. 2015;35(3):558-569.
22	Matsuo, Kiyonari	循環器腎臓内科	Loss of apoptosis regulator through modulating IAP expression (ARIA) protects blood vessels from atherosclerosis.	The Journal of Biological Chemistry. 2015;290(6):3784-3792.
23	Kato, Taku	循環器腎臓内科	Bone marrow angiotensin AT2 receptor deficiency aggravates atherosclerosis development by eliminating macrophage liver X receptor-mediated anti-atherogenic actions.	Journal of the Renin Angiotensin Aldosterone System. 2014 Dec 8. [Epub ahead of print]
24	Nakaoka, Mikihiro	循環器腎臓内科	An alpha-adrenergic agonist protects hearts by inducing Akt1-mediated autophagy.	Biochemical and Biophysical Research Communications. 2015;456(1):250-256.
25	Matoba, Satoaki	循環器腎臓内科	Triiodothyronine as a therapeutic candidate for cardiac metabolism in the failing heart.	Circulation Journal. 2014;78(12):2836-2837.

26	Irie, Daisuke	循環器腎臓内科	Transplantation of periaortic adipose tissue from angiotensin receptor blocker-treated mice markedly ameliorates atherosclerosis development in apoE ^{-/-} mice.	Journal of the Renin Angiotensin Aldosterone System. 2015;16(1):67-78.
27	Nakanishi, Naohiko	循環器腎臓内科	Angioscopic observation in chronic thromboembolic pulmonary hypertension before and after balloon pulmonary angioplasty.	Journal of Cardiovascular Medicine (Hagerstown). 2014 Aug 1. [Epub ahead of print]
28	Kitani, Tomoya	循環器腎臓内科	Internalization of isolated functional mitochondria: involvement of macropinocytosis.	Journal of Cellular and Molecular Medicine. 2014;18(8):1694-1703.
29	Katamura, Maki	循環器腎臓内科	Curcumin Attenuates Doxorubicin-Induced Cardiotoxicity by Inducing Autophagy via the Regulation of JNK Phosphorylation	Clinical and Experimental Cardiology 2014;5(9):337.
30	Kusaba, Tetsuro	循環器腎臓内科	Differentiated kidney epithelial cells repair injured proximal tubule	Proc Natl Acad Sci U S A. 2014; 111(4):1527-323.
31	Michiaki Fukui	内分泌・糖尿病・代謝内科	Low serum potassium concentration is a predictor of chronic kidney disease.	Int. J. Clin. Pract. 68: 700-704, 2014.
32	Muhei Tanaka	内分泌・糖尿病・代謝内科	Low serum bilirubin concentration is a predictor of chronic kidney disease.	Atherosclerosis 234: 421-425, 2014.
33	Masahide Hamaguchi	内分泌・糖尿病・代謝内科	Favorable effect of modest alcohol consumption to fatty liver disease.	World J. Gastroenterol. 19(32): 5393-5394, 2013.
34	Takuya Fukuda	内分泌・糖尿病・代謝内科	Association between serum γ -glutamyltranspeptidase and atherosclerosis: a population-based cross-sectional study.	BMJ Open 4(10): e005413, 2014.
35	Emi Ushigome	内分泌・糖尿病・代謝内科	Factors affecting variability in home blood pressure in patients with type 2 diabetes: post hoc analysis of a cross-sectional multicenter study.	J. Hum. Hypertens. 28(10): 594-599, 2014.
36	Emi Ushigome	内分泌・糖尿病・代謝内科	Maximum home systolic blood pressure is a useful indicator of arterial stiffness in patients with type 2 diabetes mellitus: post hoc analysis of a cross-sectional multicenter study.	Diabetes Res. Clin. Pract. 105(3): 344-351, 2014.
37	Emi Ushigome	内分泌・糖尿病・代謝内科	Home-measured heart rate is associated with albuminuria in patients with type 2 diabetes mellitus: a post-hoc analysis of a cross-sectional multicenter study.	Hypertens. Res. 37(6): 533-537, 2014.
38	Hiroshi Okada	内分泌・糖尿病・代謝内科	Low serum bilirubin concentration is a novel risk factor for the development of albuminuria in patients with type 2 diabetes.	Metabolism 63(3): 409-414, 2014.

39	Shinobu Matsumoto	内分泌・糖尿病・代謝内科	Is home blood pressure reporting in patients with type 2 diabetes reliable?	Hypertens. Res. 37: 741-745, 2014.
40	Yoshimitsu Tanaka	内分泌・糖尿病・代謝内科	The inter-arm difference in systolic blood pressure is a novel risk marker for subclinical atherosclerosis in patients with type 2 diabetes.	Hypertens. Res. 37: 548-552, 2014.
41	Masahiro Yamazaki	内分泌・糖尿病・代謝内科	Effect of repaglinide versus glimepiride on daily blood glucose variability and changes in blood inflammatory and oxidative stress markers.	Diabetol. Metab. Syndr. 6: 54, 2014.
42	Shinobu Matsumoto	内分泌・糖尿病・代謝内科	Clinical characteristics of patients who report incorrect data of home-measured blood pressure.	Diabetes Care 37: e24-25, 2014.
43	Kuroda Junya	血液・腫瘍内科	Limited value of the international staging system for predicting long-term outcome of transplant-ineligible, newly diagnosed, symptomatic multiple myeloma in the era of novel agents.	Int J Hematol. 99:441-449, 2014.
44	Kuroda Junya	血液・腫瘍内科	NS-018, a selective JAK2 inhibitor, preferentially inhibits CFU-GM colony formation by bone marrow mononuclear cells from high-risk myelodysplastic syndrome patients.	Leuk Res. 38:619-624, 2014.
45	Kuroda Junya	血液・腫瘍内科	Azacitidine-associated Acute Interstitial Pneumonitis.	Intern Med. 53:1165-1169, 2014.
46	Kobayashi Satoru	血液・腫瘍内科	Identification of novel fusion genes with 28S ribosomal DNA in hematologic malignancies.	Int J Oncol. 44:1193-1198, 2014.
47	Shimura Yuji	血液・腫瘍内科	Reduced-intensity allogeneic stem cell transplantation for co-emergence of chemotherapy-refractory follicular lymphoma and therapy-related myelodysplastic syndrome.	Case Rep Oncol. 7:188-194, 2014.
48	Chinen Yoshiaki	血液・腫瘍内科	The leucine twenty homeobox (LEUTX) gene, which lacks a histone acetyltransferase domain, is fused to KAT6A in therapy-related acute myeloid leukemia with t(8;19)(p11;q13).	Genes Chromosomes Cancer. 53:299-308, 2014.
49	Chinen Yoshiaki	血液・腫瘍内科	Phosphoinositide protein kinase PDPK1 is a crucial cell signaling mediator in multiple myeloma.	Cancer Res. 74 :7418-7429, 2014
50	Nakayama Ryuko	血液・腫瘍内科	Close pathogenetic relationship between ocular immunoglobulin G4-related disease (IgG4-RD) and ocular adnexal mucosa-associated lymphoid tissue (MALT) lymphoma.	Leuk Lymphoma. 55:1198-1202, 2014.
51	Maegawa Saori	血液・腫瘍内科	Clinical manifestation and prognostic factors of 32 Japanese patients with autoimmune disease-associated diffuse large B cell lymphomas.	Leuk Lymphoma. 2:1-9, 2014.

52	Matsumoto Yousuke	血液・腫瘍内科	Rheumatoid Arthritis/Methotrexate-associated Primary Cutaneous Diffuse Large B-cell Lymphoma Leg Type.	Intern Med. 53:1177-1181, 2014.
53	Kobayashi Tsutomu	血液・腫瘍内科	Impact of early use of lenalidomide and low-dose dexamethasone on clinical outcomes in patients with relapsed/refractory multiple myeloma.	Int J Hematol. 101:37-45, 2015
54	Maegawa Saori	血液・腫瘍内科	Clinical manifestation and prognostic factors of 32 Japanese patients with autoimmune disease-associated diffuse large B-cell lymphoma.	Leuk Lymphoma. 56:785-788, 2015.
55	Yoshida Tomokatsu	神経内科(老年内科)	Characteristics abnormal signals in medulla oblongata-'eye-spot' sign:four cases of elderly-onset Alexander disease.	Neurology clinical practice 2015 5 259-262
56	Isayama Reina	神経内科(老年内科)	Sixty six-month follow-up of muscle power and respiratory function in a case with adult-type Pompe disease treated with enzyme replacement therapy.	J Clin Neuromuscul Dis. 2014 15:152-6.
57	Noto Yu-ichi	神経内科(老年内科)	Nerve ultrasound depicts peripheral nerve enlargement in patients with genetically distinct Charcot-Marie-Tooth disease.	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2015 86:378-84.
58	Tamura Aiko	神経内科(老年内科)	Long insular artery infarction: characteristics of a previously unrecognized entity.	AJNR Am J Neuroradiol. 2014 35:466-71.
59	Azuma Yumiko	神経内科(老年内科)	Identification of ter94, Drosophila VCP, as a strong modulator of motor neuron degeneration induced by knockdown of Caz, Drosophila FUS.	Hum Mol Genet. 2014 23 :3467-80.
60	Yamada Takehiro	神経内科(老年内科)	Concomitant alpha-synuclein pathology in an autopsy case of amyotrophic lateral sclerosis presenting with orthostatic hypotension and cardiac arrests	Neuropathology. 2014 34:164-9.
61	Kitani-Morii Fukiko	神経内科(老年内科)	Hereditary diffuse leukoencephalopathy with spheroids characterized by spastic hemiplegia preceding mental impairment.	Intern Med. 2014 53:1377-80.
62	Ishi Ryotaro	神経内科(老年内科)	Decrease in plasma levels of α -synuclein is evident in patients with Parkinson's disease after elimination of heterophilic antibody interference.	PLoS One. 2015 7:e0123162.
63	Toshiyuki Kosuga	消化器外科	Feasibility and nutritional impact of laparoscopy-assisted subtotal gastrectomy for early gastric cancer in the upper stomach.	Annals of surgical oncology 21(6):2028-35, 2014
64	Tomohiro Arita	消化器外科	Increase in peritoneal recurrence induced by intraoperative hemorrhage in gastrectomy	Annals of Surgical Oncology 22(3):758-64, 2015

65	Yusuke Yamamoto	消化器外科	The clinical impact of the lymph node ratio as a prognostic factor after resection of pancreatic cancer.	Anticancer Research 34(5):2389-94, 2014
66	Toshiya Ochiai	消化器外科 北部医療センター	Prognostic impact of hepatectomy for patients with non-hepatitis B, non-hepatitis C hepatocellular carcinoma.	Anticancer Research 34(8):4399-410, 2014
67	Maki Kitagawa	消化器外科	Tumor necrosis factor- α -induced adoptosis of gastric cancer MKN28 cells: Accelerated degradation of the inhibitor of adoptosis family members.	Archives of Biochemistry and Biophysics. 566:43-8, 2015
68	Yoshito Nako	消化器外科	Denver peritoneovenous shunt performed under local anaesthesia for intractable ascites following esophagogastrectomy.	Austin Journal of Surgery 1(5):id1025, 2014
69	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Efficacy of a hypotonic treatment for peritoneal dissemination from gastric cancer cells: An In Vivo evaluation.	BioMed Research International / Journal of Biomedicine and Biotechnology 2014: 707089(article ID), 2014
70	Atsushi Shiozaki	消化器外科	The K-Cl cotransporter KCC3 as an independent prognostic factor in human esophageal squamous cell carcinoma.	BioMed Research International / Journal of Biomedicine and Biotechnology 2014: 936401(article ID), 2014
71	Shuheii Komatsu	消化器外科	Plasma microRNA profiles: identification of miR-25 as a novel diagnostic and monitoring biomarker in oesophageal squamous cell carcinoma.	British Journal of Cancer 111(8): 1614-1624, 2014
72	Shuheii Komatsu	消化器外科	Overexpression of SMYD2 contributes to malignant outcome in gastric cancer.	British Journal of Cancer 112(2):357-364, 2015
73	Osamu Kinoshita	消化器外科	Invasive mucinous adenocarcinoma associated with adjacent sessile serrated lesion of the appendix vermiform: a case report.	Case Reports in Pathology 2014(2014): ID:979674, 2014
74	Shuheii Komatsu	消化器外科	Clinical impact of predicting CCND1 amplification using plasma DNA in superficial esophageal squamous cell carcinoma.	Digestive Diseases and Sciences 59(6):1152-9, 2014
75	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Perioperative outcomes of esophagectomy preceded by the laparoscopic transhiatal approach for esophageal cancer.	Diseases of the Esophagus 27(5):470-8, 2014
76	Masayoshi Nakanishi	消化器外科	Efficacy of perioperative chemotherapy in patients with colorectal cancer undergoing hepatectomy for resectable synchronous liver metastasis.	Hepato-Gastroenterology 61:1582-7, 2014
77	Shuheii Komatsu	消化器外科	Circulating miR-18a: A sensitive cancer screening biomarker in human cancer.	in vivo 28(3):293-8, 2014

78	Yutaka Kondo	消化器外科	Fluorescent detection of peritoneal metastasis in human colorectal cancer using 5-aminolevulinic acid.	International Journal of Oncology 45(1):41-6, 2014
79	Kenichi Harada	消化器外科	Perforation of the sigmoid colon and massive ischemia of the small intestine caused by amyloidosis associated with multiple myeloma: a case report.	International Surgery 99(6):685-90, 2014
80	Hiroki Shimizu	消化器外科	The expression and role of Aquaporin 5 in esophageal squamous cell carcinoma.	Journal of Gastroenterology 49(4):655-66, 2014
81	Atsushi Shiozaki	消化器外科	xCT, component of cysteine/glutamate transporter, as an independent prognostic factor in human esophageal squamous cell carcinoma.	Journal of Gastroenterology 49(5):853-63, 2014
82	Kenichi Takemoto	消化器外科	Evaluation of the efficacy of peritoneal lavage with distilled water in colorectal cancer surgery: in vitro and in vivo study.	Journal of gastroenterology 50(3):287-97, 2015
83	Taisuke Imamura	消化器外科	Poor prognostic subgroup in T3N0 stage IIA gastric cancer, suggesting an indication for adjuvant chemotherapy.	Journal of Surgical Oncology 111(2):221-5, 2015
84	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Progress in cellular physiological researches on esophageal cancer.	Journal of tumor 2(10):241-5, 2014
85	Tsutomu Kawaguchi	消化器外科	Clinical significance of chemotherapy for geriatric patients with advanced or recurrent gastric cancer.	Molecular and clinical oncology 3(1):83-8, 2015
86	Akinobu Furutani	消化器外科 分子標的癌予防医学	The novel HDAC inhibitor OBP-801/YM753 enhances the effects of 5-fluorouracil with radiation on esophageal squamous carcinoma cells.	Oncology Research 21(5):281-6, 2014
87	Yusuke Yamamoto	消化器外科	Optimal duration of the early and late recurrence of pancreatic cancer after pancreatectomy based on the difference in the prognosis	Pancreatology 14(6):524-9, 2014
88	Shuhei Komatsu	消化器外科	Clinical Outcomes and Quality of Life According to Types of Reconstruction Following Laparoscopy-assisted Distal Gastrectomy for Gastric Cancer.	Surgical Laparoscopy Endoscopy & Percutaneous Techniques 25(1) :69-73, 2015
89	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Role of the Na ⁺ /K ⁺ /2Cl ⁻ cotransporter NKCC1 in cell cycle progression in human esophageal squamous cell carcinoma.	World Journal of Gastroenterology 20(22) :6844-59, 2014
90	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Cellular physiological approach for treatment of gastric cancer.	World Journal of Gastroenterology 20(33):11560-6, 2014
91	Atsushi Shiozaki	消化器外科	Claudin 1 mediates tumor necrosis factor alpha-induced cell migration in human gastric cancer cells	World Journal of Gastroenterology 20(47):17863-76, 2014

92	Yusuke Yamamoto	消化器外科	Post-hepatectomy survival in advanced hepatocellular carcinoma with portal vein tumor thrombosis.	World Journal of Gastroenterology 21(1):246-53, 2015
93	Shuhei Komatsu	消化器外科	Histological mixed-type as an independent prognostic factor in stage I gastric carcinoma.	World Journal of Gastroenterology 21(2):549-55, 2015
94	Yusuke Yamamoto	消化器外科	Optimal duration of the early and late recurrence of hepatocellular carcinoma after hepatectomy.	World Journal of Gastroenterology 21(4):1207-15, 2015
95	Yusuke Yamamoto	消化器外科	Clinical analysis of anatomical resection for the treatment of hepatocellular carcinoma based on the stratification of liver function.	World Journal of Surgery 38(5):1154-63, 2014
96	Yaku, Hitoshi	心臓血管外科	Aortic Valve Reconstruction With Autologous Glutaraldehyde-Treated Pericardium -A New Paradigm for Aortic Valve Surgery?-	Circulation Journal Vol.78 No.5 May 2014
97	Kawajiri, Hdidetake	心臓血管外科	Two-stage hybrid repair for a Kommerell diverticulum in a right-sided aortic arch associated with multivessel coronary disease and atrial septal defect.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2014 Jan;147(1):532-4.
98	Dohi, Masahiro	心臓血管外科	The off-pump technique in redo coronary artery bypass grafting reduces mortality and major morbidities: propensity score analysis of data from the Japan Cardiovascular Surgery Database.	European journal of cardio-thoracic surgery.2014 Mar 12.
99	Ohira, Suguru	心臓血管外科	Prediction of early postoperative cerebral hemorrhage in infective endocarditis patients using magnetic resonance imaging.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2014 Jun 10.
100	Muranishi, Nanae	心臓血管外科	Label-free evaluation of myocardial infarction and its repair by spontaneous Raman spectroscopy.	Anal Chem.2014 Jul 15;86(14):6903-10.doi:10.1021/ac500592y.Epub 2014 Jun 23.
101	Dohi, Masahiro	心臓血管外科	A Novel Technique of Aortic Root Reconstruction for Extensive Endocarditis:The Pericardial Skirt Technique.	Ann Thorac Sug 2014 Sep98(3);98:1121-3
102	Ohira, Suguru	心臓血管外科	Intramural Hematoma and Oozing Rupture of Left Atrium after Resection of Wide-Based Left Atrial Myxoma.	Echocardiography 2014 Oct;31 (9): E275-7.
103	Ohira, Suguru	心臓血管外科	Commissural Detachment and Valsalva Sinus Dilatation after Implantation of Prima Plus Stentless Valve with Full Root Technique .	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2014 Oct 24.
104	Ohira, Suguru	心臓血管外科	Layered Wrapping Technique Combined with Oxidized Cellulose and Vascular Prosthesis for Effective Hemostasis in Aortic Surgery.	Interact Cardiovasc Thorac Surg 2014 Nov 21.

105	Ohira, Suguru	心臓血管外科	“Re-Skeletonization” for Patent Graft Using Ultrasonic Scalpel in Redo Surgery.	Ann Thorac Surg 2014 Dec;98(6):e153-5.
106	Shimada Junichi	呼吸器外科	A retrospective analysis of surgical outcomes after resection of pulmonary metastases from bone and soft tissue sarcomas.	Journal Kyoto Prefectural University Medicine 2014
107	Okada Satoru	呼吸器外科	A touch panel surgical navigation system with automatic depth perception.	International Journal of Computer Assist Radiology and Surgery 10(3):243-51, 2015
108	TETSUYA TAGUCHI	内分泌・乳腺外科	Low dose capecitabine plus weekly paclitaxel in patients with metastatic breast cancer: a multicenter phase II study KBCSG-0609.	Cancer Chemother Pharmacol 71:741-747 2013.
109	NARUHIKO MIZUTA	内分泌・乳腺外科	Myoid hamartoma of the breast that proved difficult to diagnose: a case report.	World J Surg Oncol;10:12 2012
110	Tsukasa Nakamura	移植・一般外科	Successful emergency department thoracotomy for traumatic cardiac rupture: effective utilization of a fret sternum saw.	Ulus Travma Acil Cerrahi Derg 20(3):217-220,2014
111	Tsukasa Nakamura	移植・一般外科	Successful surgical rescue of delayed onset diaphragmatic hernia following radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma.	Ulus Travma Acil Cerrahi Derg20(4):295-299,2014
112	FURUKAWA Ryuhei	整形外科	Diagnostic accuracy of magnetic resonance imaging for subscapularis tendon tears using radial-slice magnetic resonance images.	J Shoulder Elbow Surg. 2014 Nov;23(11):e283-90.
113	HARA Yusuke	整形外科	Alteration of hindfoot alignment after total knee arthroplasty using a novel hindfoot alignment view.	J Arthroplasty. 2015 Jan; 30(1): 126-9.
114	IKOMA Kazuya	整形外科	Extra-articular dorsal closing-wedge osteotomy to treat late-stage Freiberg disease using polyblend sutures: technical tips and clinical results.	Int Orthop. 2014 Jul;38(7): 1401-5.
115	INOUE Hiroaki	整形外科	Hydrostatic pressure influences HIF-2 alpha expression in chondrocytes	Int J Mol Sci. 2015 Jan 5; 16(1): 1043-50.
116	KIDA Yoshikazu	整形外科	Prevalence and Clinical Characteristics of Osteochondritis Dissecans of the Humeral Capitellum Among Adolescent Baseball Players.	Am J Sports Med. 2014 Aug; 42(8): 1963-71.
117	KIDO Masamitsu	整形外科	Selective visualization of rabbit knee cartilage using MR imaging with a double-contrast agent	J Magn Reson Imaging. 2014 May; 39(5): 1186-90.
118	KIDO Masamitsu	整形外科	Effect of therapeutic insoles on the medial longitudinal arch in patients with flatfoot deformity: a three-dimensional loading computed tomography study.	Clin Biomech (Bristol, Avon). 2014 Dec; 29(10): 1095-8.

119	MIZUNO Kentaro	整形外科	Instrumented reduction and monosegmental fusion for Meyerding Grade IV developmental spondylolisthesis: a report of 3 cases.	Medicine (Baltimore). 2014 Dec; 93(29): e244.
120	MIZUNO Kentaro	整形外科	Evaluation of resorption and biocompatibility of collagen hemostats in the spinal epidural space.	Spine J. 2014 Sep 1; 14(9): 2141-9.
121	SAITO Masazumi	整形外科	Corticosteroid administration within 2 weeks after renal transplantation affects the incidence of femoral head osteonecrosis.	Acta Orthop. 2014 Jun;85(3): 266-70.
122	SHIRAI Toshiharu	整形外科	Antimicrobial megaprotheses supported with iodine.	J Biomater Appl. 2014 Oct;29(4): 617-23.
123	SHIRAI Toshiharu	整形外科	Prevention of pin tract infection with iodine-supported titanium pins.	J Orthop Sci. 2014 Jul;19(4): 598-602.
124	TANIGUCHI Daigo	整形外科	Maximum intensity projection with magnetic resonance imaging for evaluating synovitis of the hand in rheumatoid arthritis: comparison with clinical and ultrasound findings.	Clin Rheumatol. 2014 Jul;33(7): 911-7.
125	TSUCHIDA Shinji	整形外科	HIF-1 α -induced HSP70 regulates anabolic responses in articular chondrocytes under hypoxic conditions.	J Orthop Res. 2014 Aug;32(8): 975-80.
126	YAMASAKI Tetsuro	整形外科	In vivo evaluation of rabbit sciatic nerve regeneration with diffusion tensor imaging (DTI): correlations with histology and behavior.	Magn Reson Imaging. 2015 Jan;33(1): 95-101.
127	Ito, Fumitake	産婦人科	Medroxyprogesterone acetate enhances monocyte-endothelial interaction under flow conditions by stimulating the expression of cell adhesion molecules.	The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism 99: 2188-2197, 2014
128	Suganuma, Izumi	産婦人科	Peroxisome proliferator-activated receptor gamma, coactivator 1 alpha enhances local estrogen biosynthesis by stimulating aromatase activity in endometriosis.	The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism 99: E1191-E1198, 2014
129	Akiyama, Makoto	産婦人科	18F-Fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography-positive lymph node endometriosis masquerading as lymph node metastasis of a malignant tumor.	Case Reports in Obstetrics and Gynecology 2014: 648485, doi: 10.1155/2014/648485. Epub 2014 Aug 10.
130	Ijichi, Sakura	産婦人科	Clear cell carcinoma arising from cesarean section scar endometriosis: case report and review of the literature.	Case Reports in Obstetrics and Gynecology 2014: 642483, doi: 10.1155/2014/642483. Epub 2014 Nov 2.

131	Makoto Wada	皮膚科	The dual RAF/MEK inhibitor CH5126766/RO5126766 may be a potential therapy for RAS-mutated tumor cells.	PLoS One 9(11); e113217, 2014
132	Naomi Nakamura	皮膚科	Toll-like receptor 3 increases allergic and irritant contact dermatitis.	J Invest Dermatol 135(2); 411-417, 2014
133	Risa Tamagawa-Mineoka	皮膚科	Increased serum levels of interleukin 33 in patients with atopic dermatitis.	J Am Acad Dermatol 70(5); 882-888, 2014
134	Jun Asai	皮膚科	Photodynamic diagnosis of metastatic lymph nodes using 5-aminolevulinic acid in mouse squamous cell carcinoma.	J Dermatol Sci 74(2); 171-173, 2014
135	Yasuyuki Naitoh	泌尿器科	Nephrolithotomy Performed Concurrently With Laparoendoscopic Single-site Pyeloplasty	Urology 83(1): 243-246, 2014
136	Tsuneharu Miki	泌尿器科	Clinical characteristics and oncological outcomes of testicular cancer patients registered in 2005 and 2008: The first large-scale study from the Cancer Registration Committee of the Japanese Urological Association	International Journal of Urology 21(8):1-6, 2014
137	Yasuyuki Naitoh	泌尿器科	Laparoendoscopic single-site versus conventional laparoscopic pyeloplasty: A matched pair analysis	International Journal of Urology 21(8):793-796, 2014
138	Fumiya Hongo	泌尿器科	Long-term outcome of hand-assisted laparoscopic radical nephrectomy for T1 renal cell carcinoma	International Journal of Urology 21(11):1093-1096, 2014
139	Saya Ito	泌尿器科	Paired box 2 upregulates androgen receptor gene expression in androgen-independent prostate cancer	Federation of European Biochemical Societies journal 281(19):4506-4518, 2014
140	Fumiya Hongo	泌尿器科	Complete response of sunitinib therapy for renal cell cancer recurrence in the native kidney after renal transplantation: a case report	Biomed Central research notes 7(1):526, 2014
141	Saya Ito	泌尿器科	A genetic screen in Drosophila for regulators of human prostate cancer progression	Biochemical and biophysical research communications 451(4):548-555, 2014
142	Koji Okihara	泌尿器科	Assessment of permanent brachytherapy combined with androgen deprivation therapy in an intermediate-risk prostate cancer group without a Gleason score of 4 + 3: a single Japanese institutional experience	International Journal of Urology 21(3):271-276, 2014

143	Fumiya Hongo	泌尿器科	Experience of laparoscopic partial nephrectomy using a kidney grasper in selective cases	Journal of laparoendoscopic & advanced surgical techniques. Part A 24(11):795-798, 2014
144	Fumiya Hongo	泌尿器科	CDK1 and CDK2 activity is a strong predictor of renal cell carcinoma recurrence	Urologic oncology 32(8):1240-1246, 2014
145	Yasuhiro Yamada	泌尿器科	Permanent prostate brachytherapy and short-term androgen deprivation for intermediate-risk prostate cancer in Japanese men: outcome and toxicity.	Brachytherapy 14(2):118-123, 2015
146	Yoshio Naya	泌尿器科	Initial experience of combined use of photodynamic diagnosis and narrow band imaging for detection of flat urothelial lesion.	International Journal of Clinical Oncology 20(3):593-597, 2015
147	Yasuyuki Naitoh	泌尿器科	Percutaneous Nephrolithotripsy and Antegrade Ureterolithotripsy in a 10-Month-Old Infant with Urinary Stones in Both Kidney and Ureter	International Journal of Urology 22(1):128-130, 2015
148	Masakatsu Taki	耳鼻咽喉科	Periodic alternating nystagmus during caloric stimulation.	Auris Nasus Larynx 41(2):211-214, 2014.4.
149	Gaku Ohmura	耳鼻咽喉科	Aberrant Myosin 1b expression promotes cell migration and lymph node metastasis of HNSCC.	Mol Cancer Res 13(4): 721-731, 2015.04.
150	Nakamae Takashi	精神科・心療内科	Altered fronto-striatal fiber topography and connectivity in obsessive-compulsive disorder.	PLoS One9(11): e112075, 2014.
151	Tominaga Toshiyuki	精神科・心療内科	Relationship between alexithymia and coping strategies in patients with somatoform disorder.	Neuropsychiatric Disease and Treatment 10:55-62, 2014.
152	Nakamura Mituo	精神科・心療内科	Defensive function of persecutory delusion and discrepancy between explicit and implicit self-esteem in schizophrenia: study using the Brief Implicit Association Test.	Neuropsychiatr Dis Treat11(22):33-40, 2014.
153	Hatano Yutaka	精神科・心療内科	Using drawing tests to explore the multidimensional psychological aspects of children with cancer.	Jpn J Clin Oncol 44(10):1009-1012, 2014.
154	Matsuoka Teruyuki	精神科・心療内科	Japanese versions of the Executive Interview (J-EXIT25) and the Executive Clock Drawing Task (J-CLOX) for older people.	International Psychogeriatrics26(8): 1387-1397, 2014.
155	Yamazaki Hideeya	放射線科	Transitioning from conventional radiotherapy to intensity-modulated radiotherapy for localized prostate cancer: changing focus from rectal bleeding to detailed quality of life analysis.	J Radiat Res 55: 1033-1047, 2014.

156	Sakai Koji	放射線科	Brainstem white matter tracts and the control of eye movements.	Semin Ultrasound CT MR 35: 517-526, 2014.
157	Yamazaki Hideya	放射線科	Hypofractionated stereotactic radiotherapy using CyberKnife as a boost treatment for head and neck cancer, a multi-institutional survey: impact of planning target volume.	Anticancer Res 34: 5755-5759, 2014.
158	Aibe Norihiro	放射線科	Outcome and toxicity of stereotactic body radiotherapy with helical tomotherapy for inoperable lung tumor: analysis of Grade 5 radiation pneumonitis.	J Radiat Res 55: 575-582, 2014.
159	Aibe Norihiro	放射線科	Analysis of intrafractional organ motion by megavoltage computed tomography in patients with lung cancer treated with image-guided stereotactic body radiotherapy using helical tomotherapy.	Anticancer Res 34: 7383-7388, 2014.
160	Tazoe Jun	放射線科	Potential risk of alpha-glucosidase inhibitor administration in prostate cancer external radiotherapy by exceptional rectal gas production: a case report.	J Med Case Rep 8: 136, 2014.
161	Masui Koji	放射線科	A novel minimally invasive technique of high-dose rate image-based intracavitary brachytherapy for endometrial cancer using a single fine and soft, flexible applicator.	Anticancer Res 34: 2537-2540, 2014.
162	Suzuki Gen	放射線科	Predisposing factors for larynx preservation strategies with non-surgical multimodality treatment for locally advanced (t3-4) larynx, hypo pharynx and cervical esophageal disease.	Anticancer Res 34: 5205-5210, 2014.
163	Suzuki Gen	放射線科	Multimodal approach for cervical esophageal carcinoma: role of neoadjuvant chemotherapy.	Anticancer Res 34: 1989-1992, 2014.
164	Suzuki Gen	放射線科	Multimodal treatment for t1-2 supraglottic cancer: the impact of tumor location.	Anticancer Res 34: 203-207, 2014.
165	Sawa Teiji	麻酔科	Association between Pseudomonas aeruginosa type III secretion, antibiotic resistance, and clinical outcome: a review.	CritCare, 18: 668, 2014.
166	Sawa Teiji	麻酔科	Anti-PcrV antibody strategies against virulent Pseudomonas aeruginosa.	Hum Vaccin Immunother, 20:20, 2842-2852, 2014.
167	Sawa Teiji	麻酔科	V-antigen homologs in pathogenic gram-negative bacteria.	Microbiology and Immunology, 58(5): 267-85, 2014.
168	Sawa Teiji	麻酔科	The molecular mechanism of acute lung injury caused by Pseudomonas aeruginosa: from bacterial pathogenesis to host response.	J Intensive Care Feb 18; 2(1):10, 2014.
169	Sawa Teiji	麻酔科	The molecular mechanism of acute lung injury caused by Pseudomonas aeruginosa: from bacterial pathogenesis to host response.	Journal of Intensive Care, 2: 10, 2014

170	Amaya Fumimasa	麻酔科	Preoperative anesthesia clinic in Japan: a nationwide survey of the current practice of preoperative anesthesia assessment.	J Anesth, 29:175-179,2014.
171	Nakayama Yoshinobu	麻酔科	A novel method for ultrasound-guided radial arterial catheterization in pediatric patients.	Anesth Analg 118(5): 1019-26, 2014.
172	Hosokawa Toyoshi	疼痛・緩和ケア科	Predictive Factors for Nausea Vomiting in Patients with Cancer Who Receive Oral Oxycodone for the First Time : Is Prophylactic Medication for prevention of Opioid-Induced Nausea or Vomiting Necessary?	oru Palli Med 17(8):683-686, 2014.(2.845)
173	Hosokawa Toyoshi	疼痛・緩和ケア科	Oxycodone : Abuse Preventiopn Especially in Cancer Patients. Substance Abuse	- Prevalence, Genetic & Environmental Risk Factors & Prevention-. Edit Jeffrey Raines, Nova Science Publishers Inc. New York : pp147-158, 2014.
174	Fukazawa Keita	疼痛・緩和ケア科	Risk factors related to accidental intravascular injection during caudal anesthesia.	Japanese Society of Anesthesiologists. Published online: 14, May.2014.
175	Yoshida Hideki	小児科	Protracted Administration of L-Asparaginase in Maintenance Phase Is the Risk Factor for Hyperglycemia in Older Patients with Pediatric Acute Lymphoblastic Leukemia.	PLOS One 2015 Aug 28;10(8):e0136428.
176	Ishida Hiroyuki	小児科	Comparison of outcomes for pediatric patients with acute myeloid leukemia in remission and undergoing allogeneic hematopoietic cell transplantation with myeloablative conditioning regimens based on either intravenous busulfan or total-body irradiation: A report from the Japanese Society for Hematopoietic Cell Transplantation (JSHCT).	Biol. Blood Marrow Transplant. 2015 Aug 10. pii: S1083-8791(15)00540-6.
177	Kawashima-Goto Sachiko	小児科	BCL2 Inhibitor (ABT-737): A Restorer of Prednisolone Sensitivity in Early T-Cell Precursor-Acute Lymphoblastic Leukemia with High MEF2C Expression?	PLOS One 2015 Jul 14;10(7):e0132926.
178	Miyagaki Satoshi	小児科	Hematopoietic stem cell transplantation-associated thrombotic microangiopathy accompanied by renal arteriolar C4d deposition.	Pediatr Int.2015 Aug;57(4):791-4.
179	Ouchi Kazutaka	小児科	FN1: a novel fusion partner of ALK in an inflammatory myofibroblastic tumor.	Pediatr Blood Cancer 2015 May;62(5):909-11.
180	Morita Takashi	小児科	Low-grade intraventricular hemorrhage disrupts cerebellar white matter in preterm infants: evidence from diffusion tensor imaging.	Neuroradiology 2015 May;57(5):507-14.

181	Ishida Hiroyuki	小児科	Comparison of a fludarabine and melphalan combination-based reduced toxicity conditioning with myeloablative conditioning by radiation and/or busulfan in acute myeloid leukemia in Japanese children and adolescents.	Pediatr Blood Cancer 2015 May;62(5):883-9.
182	Kawashima-Goto Sachiko	小児科	Identification of a homozygous JAK3 V674A mutation caused by acquired uniparental disomy in a relapsed early T-cell precursor ALL patient.	Int J Hematol 2015 Apr;101(4):411-6.
183	Tsuma Yusuke	小児科	Successful treatment of idiopathic colitis related to XIAP deficiency with allo-HSCT using reduced-intensity conditioning.	Pediatr Transplant. 2015 Feb;19(1):E25-8.
184	Yano Mio	小児科	An overall characterization of pediatric acute lymphoblastic leukemia with CRLF2 overexpression.	Genes Chromosomes Cancer 2014 Oct;53(10):815-23.
185	Sakamoto Kenishi	小児科	Hematopoietic stem cell transplantation-associated thrombotic microangiopathy accompanied by renal arteriolar C4d deposition.	Pediatr Transplant. 2015 Jun;19(4):E97-100.
186	Imamura Toshihiko	小児科	Relapse of acute megakaryocytic leukemia as hepatic myeloid sarcoma after allogeneic haploidentical hematopoietic stem cell transplantation.	Int J Hematol 2014 Aug;100(2):109-10.
187	Miyachi Mitsuru	小児科	MRD detection of leukemia relapse using HLA typing by FACS in combination with FISH after mismatched allogeneic stem cell transplantation.	Pediatr Transplant. 2014 Aug;18(5):E180-4.
188	Sakamoto Kenichi	小児科	Sensitivity of MLL-rearranged AML cells to all-trans retinoic acid is associated with the level of H3K4me2 in the RAR α promoter region.	Blood Cancer J 2014 Apr 25;4:e205.
189	Yoshida Hideki	小児科	Identification of COL3A1 and RAB2A as novel translocation partner genes of PLAG1 in lipoblastoma.	Genes Chromosomes Cancer 2014 Jul;53(7):606-11.
190	Asai Daisuke	小児科	Outcome of TCF3-PBX1 positive pediatric acute lymphoblastic leukemia patients in Japan	Cancer Med 2014 Jun;3(3):623-31.
191	Chiyonobu Tomohiro	小児科	Glycosylphosphatidylinositol (GPI) anchor deficiency caused by mutations in PIGW is associated with West syndrome and hyperphosphatasia with mental retardation syndrome.	J Med Genet. 2014 Mar;51(3):203-7.
192	Yoshida Hideki	小児科	PAX3-NCOA2 fusion gene has a dual role in promoting the proliferation and inhibiting the myogenic differentiation of rhabdomyosarcoma cells.	Oncogene 2014 Dec 4;33(49):5601-8.
193	Yoshida Hideki	小児科	Dyskeratosis congenita complicated by hepatic fibrosis with hepatic vein thrombosis.	J Pediatr Hematol Oncol. 2014 May;36(4):308-11.
194	Sakamoto Kenichi	小児科	Acute lymphoblastic leukemia developing in a patient with Noonan syndrome harboring a PTPN11 germline mutation.	J Pediatr Hematol Oncol. 2014 Mar;36(2):e136-9.

195	Sugimoto Satoru	小児科	Miglitol increases energy expenditure by upregulating uncoupling protein 1 of brown adipose tissue and reduces obesity in dietary-induced obese mice.	Nutr Metab (Lond) 2014 Mar 26;11(1):14.
196	Yahata Tomoyo	小児循環器・腎臓科	Platelet Activation Dynamics Evaluated Using platelet-Derived Microparticles in Kawasaki Disease.	Circ j.78:188-193,2014
197	Suzuki Chinatsu	小児循環器・腎臓科	Possible involvement of IL-23/IL17 axis in pathogenesis of Kawasaki disease like vasculitis.	Cardiology in the Young Vol24(Sup1) P-17.2014
198	Suzuki Chinatsu	小児循環器・腎臓科	Possible implication of Proline-rich tyrosine kinase 2 (Pyk2) in the pathogenesis of Kawasaki disease.	Cardiology in the Young Vol24(Sup1) P-18.2014
199	Yahata Tomoyo	小児循環器・腎臓科	Possible Involvement of Eicosapentaenoic Acid in Anti-platelet Therapy Effects and Possible Development of Artherosclerosis in Chronic Kawasaki Disease patients.	Cardiology in the Young Vol24(Sup1) P-84.2014
200	Hamaoka Kenji	小児循環器・腎臓科	Possible implication of Oxidative Stress in Development of Coronary Vascular Lesions in Kawasaki Disease.	Circulation.2014;130:A16148.
201	Nishida Masashi	小児循環器・腎臓科	A case of Fabry nephropathy with histological features of oligonephropathy.	European Journal of Pediatrics. 2014 Aug; 173(8): 1111-4.
202	Hamaoka-Okamoto A	小児循環器・腎臓科	The involvement of the vasa vasorum in the development of vasculitis in animal model of Kawasaki disease.	Pediatr Rheumatol Online J. 2014, 12: 12
203	Kenji Hamaoka	小児循環器・腎臓科	Oxidative Stress in Kawasaki Disease Vasculitis	International Journal of Pediatrics & Neonatal Care. 2015, 1:103
204	Nakamura A	小児循環器・腎臓科	Involvement of mannose-binding lectin in the pathogenesis of Kawasaki disease-like murine vasculitis.	clin Immunol.2014 Jul;153(1):64-72.doi:10.1016/j.clim.2014.03.019.Epub 2014 Apr 8.
205	Kohei Sakai	小児外科	Prenatal administration of neuropeptide bombesin promotes lung development in a rat model of nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia	Journal of Pediatric Surgery 49 (12): 1749-1752, 2014.
206	Honjo Ken-ichi	歯科	Evaluation of a dental pulp-derived cell sheet cultured on amniotic membrane substrate.	Bio-Medical Materials and Engineering 25 (2), 203-212, 2015.

207	Mikami Yasuo	リハビリテーション科	Microendoscopic decompression for lumbar degenerative spondylolisthesis - Clinical results and radiological assessment after more than 5 years of follow-up	Journal of Spine Research 6(2) 110-114 2015
208	Yanagisawa Akio	病院病理部	Validation of a Nomogram for Predicting the Probability of Carcinoma in Patients with Intraductal Papillary-Mucinous Neoplasm in 180 Pancreatic Resection Patients at 3 High Volume Centers.	Pancreas. 44 (3) 459-464, 2015
209	Nakao Ryuta	病院病理部	Histopathological and immunohistochemical characteristics of superficial squamous cell carcinoma forming droplet infiltration: indicator of lymph node metastasis of the esophagus.	Esophagus. 12 175-183, 2015
210	Inaba T, et al.	臨床検査部	Basic evaluation of Pentra MS CRP, a new automated hematology analyzer for rapid 5-part WBC differential and CRP using a small volume of whole blood	Int J Lab Hematol doi:10.1111/ijlh.12268. 2014
211	Inaba T, et al.	臨床検査部	Polyclonal intraocular plasmacytosis in a patient with herpetic endophthalmitis	Int J Lab Hematol doi: 10.1111/ijlh.12317. 2014
212	Mayumi Ueta	眼科	New Susceptibility Gene, IKZF1, for Cold Medicine-Related Stevens-Johnson Syndrome/Toxic Epidermal Necrolysis with Severe Mucosal Involvements	J Allergy Clin Immunol. 135(6) : 1538-1545, 2014.
213	Mayumi Ueta	眼科	Trans-ethnic study confirmed independent associations of HLA-A*02:06 and HLA-B*44:03 with cold medicine-related Stevens-Johnson syndrome with severe ocular surface complications	Sci Rep. 4 : 5981, 2014.
214	Mayumi Ueta	眼科	Independent strong association of HLA-A*02:06 and HLA-B*44:03 with cold medicine-related Stevens-Johnson syndrome with severe mucosal involvement.	Sci Rep. 4 : 4862, 2014.
215	Maho Nagata	眼科	LRIG1 as a potential novel marker for neoplastic transformation in ocular surface squamous neoplasia	PLoS One. 9(4) : e93164, 2014
216	Norihiko Yokoi	眼科	Importance of tear film instability in dry eye disease in office workers using visual display terminals	Am J Ophthalmol. 159(4) : 748-54, 2014.
217	Norihiko Yokoi	眼科	Facilitation of Tear Fluid Secretion by 3% Diquafosol Ophthalmic Solution in Normal Human Eyes	Am J Ophthalmol. 157(1) : 85-92, 2014.
218	Hiroko Nakagawa	眼科	Clinical Outcomes in Descemet Stripping Automated Endothelial Keratoplasty With Internationally Shipped Precut Donor Corneas.	Am J Ophthalmol. 157(1) : 50-55, 2014.

219	Shigeru Kinoshita	眼科	Rebamipide Ophthalmic Suspension Long-term Study Group. A Multicenter, Open-Label, 52-Week Study of 2% Rebamipide (OPC-12759) Ophthalmic Suspension in Patients with Dry Eye.	Am J Ophthalmol. 157(3) : 576-83, 2014.
220	Chie Sotozono	眼科	Tear Exchangeable Limbal Rigid Contact Lens for Ocular Sequelae Due to Stevens-Johnson Syndrome or Toxic Epidermal Necrolysis.	Am J Ophthalmol. 158(5) : 983-993, 2014.
221	Akihide Watanabe	眼科	Long-term tear volume changes after blepharoptosis surgery and blepharoplasty.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 56(1) : 54-8, 2014.
222	Naoki Okumura	眼科	R-spondin1 regulates cell proliferation of corneal endothelial cells via the Wnt3a/ β -catenin pathway.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 55 : 6861-6869, 2014.
223	Naoki Okumura	眼科	Involvement of cyclin D and p27 in cell proliferation mediated by ROCK inhibitors Y-27632 and Y-39983 during corneal endothelium wound healing.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 55(1) : 318-29, 2014.
224	Naoki Okumura	眼科	R-spondin1 Regulates Cell Proliferation of Corneal Endothelial Cells via the Wnt3a/ β -catenin Pathway	Invest Ophthalmol Vis Sci. 55(10) : 6861-9, 2014
225	Naoki Okumura	眼科	Cell surface markers of functional phenotypic corneal endothelial cells	Invest Ophthalmol Vis Sci. 55(11) : 7610-8,2014.
226	Yuko Maruyama	眼科	The Effect of Podoplanin Inhibition on Lymphangiogenesis under Pathological Conditions	Invest Ophthalmol Vis Sci. 55(8) : 4813-22, 2014.
227	Keiko Yamada	眼科	Upregulation of Toll-like receptor 5 expression in the conjunctival epithelium of various human ocular surface diseases	Br J Ophthalmol. 98(8) : 1116-9,2014.
228	Taizo Yamagishi	眼科	Changes in fundus autofluorescence after treatments for polypoidal choroidal vasculopathy.	Br J Ophthalmol. 98(6) : 780-4, 2014.
229	Shigeru Kinoshita	眼科	Human periodontal ligament cell sheets cultured on amniotic membrane substrate.	Oral Diseases. 20 : 582-590, 2014.
230	Chie Sotozono	眼科	Cultivated oral mucosal epithelial transplantation for persistent epithelial defect in severe ocular surface diseases with acute inflammatory activity.	Acta Ophthalmol. 92(6) : e447-53, 2014.
231	Akihide Watanabe	眼科	Relationship between frequent swimming pool use and lacrimal duct obstruction.	Acta Ophthalmol. 92(3) : e242-3, 2014.

232	Mayumi Ueta	眼科	Suppression of polyI. C-inducible gene expression by EP3 in murine conjunctival epithelium.	Immunol Lett. 159(1-2) : 73-5, 2014.
233	Akihide Watanabe	眼科	Short-term Changes in Tear Volume After Blepharoptosis Repair.	Cornea. 33(1) : 14-7, 2014.
234	Noriko Koizumi	眼科	New therapeutic modality for corneal endothelial disease using Rho-associated kinase inhibitor eye drops.	Cornea. 33(Suppl.11) : S25-31, 2014.
235	Naoki Okumura	眼科	Cell-based approach for treatment of corneal endothelial dysfunction. Cornea.	Cornea. 33(Suppl. 11) : S37-41, 2014.
236	Akihide Watanabe	眼科	hort-term changes in tear volume after blepharoptosis repair.	Cornea. 33(1) : 14-7, 2014.
237	Kenji Nagata	眼科	Age Differences in Sarcoidosis Patients with Posterior Ocular Lesions.	Ocul Immunol Inflamm. 22(4) : 257-62, 2014.
238	Masayuki Ouchi	眼科	High-cylinder toric intraocular lens implantation versus combined surgery of low-cylinder intraocular lens implantation and limbal relaxing incision for high-astigmatism eyes.	Clinical Ophthalmology. 8 : 661-7, 2014.
239	Mayumi Ueta	眼科	Downregulation of IL-8, ECP, and total IgE in the tears of patients with atopic keratoconjunctivitis treated with rebamipide eyedrops.	Clinical and Translational Allergy. 4 : 40, 2014.
240	Mayumi Ueta	眼科	Usefulness of a New Therapy Using Rebamipide Eyedrops in Patients with VKC/AKC Refractory to Conventional Anti-Allergic Treatments	Allergol Int. 63(1) : 75-81, 2014.
241	Yuko Maruyama	眼科	Morphological analysis of age-related iridocorneal angle changes in normal and glaucomatous cases using anterior segment optical coherence tomography.	Clin Ophthalmol. 8 : 113-8, 2014.
242	Yuko Maruyama	眼科	Effects of long-term topical prostaglandin therapy on central corneal thickness.	J Ocul Pharmacol Ther. 30(5) : 440-444, 2014.
243	Akihide Watanabe	眼科	Folliculitis in clinically "quiet" chronic Stevens-Johnson syndrome.	Ophthal Plast Reconstr Surg. 30(1) : 80-82, 2014.
244	Taizo Yamazaki	眼科	Subfoveal choroidal thickness in retinal angiomatous proliferation.	Retina. 34(7) : 1316-22, 2014.

小計 13

合計 244

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
～				

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 無
・ 手順書の主な内容 臨床研究の原則、目的、学長の業務、実施責任者の業務、審査委員会事務局、講習の受講、データベースへの登録、	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 5 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 無
・ 規定の主な内容 「京都府公立大学法人の利益相反の管理に関する規程」…利益相反の管理や判断基準等を規定 「京都府立医科大学利益相反委員会規程」…設置目的や組織編成等について規定	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	概ね 年 6 回 (書面審査含む)

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(案)～疫学研究・臨床研究倫理指針の改正～」 「再生医療等の安全性の確保等に関する法律について」	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科において、専門医・認定医取得のための高度な医療知識・スキルを習得させる。
(プログラムは各科ごとに作成)

2 研修の実績

研修医の人数	189人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
保田 宏明	消化器内科	講師	23年	
松室 明義	循環器内科	助教 (学内講師)	29年	
玉垣 圭一	腎臓内科	助教 (学内講師)	18年	
竹村 佳純	呼吸器内科	助教	19年	
山崎 真裕	内分泌・糖尿病・代謝内科	助教 (学内講師)	19年	
古林 勉	血液内科	助教	13年	
妹尾 高宏	膠原病・リウマチ・アレルギー科	助教	13年	
田中 章浩	神経内科 (老年内科)	助教	11年	
市川 大輔	消化器外科	講師	25年	
沼田 智	心臓血管外科	助教	10年	
宮崎 隆子	小児心臓血管外科	助教	19年	
加藤 大志朗	呼吸器外科	講師	26年	
中努 克彦	内分泌・乳腺外科	助教	11年	
伊藤 孝司	移植・一般外科	講師	17年	
古川 泰三	小児外科	講師	20年	
素輪 善弘	形成外科	助教	12年	
立澤 和典	脳神経外科	講師	21年	
白井 寿治	整形外科	講師	19年	
岩破 一博	産婦人科	准教授	36年	
秋岡 親司	小児科	講師	24年	
池田 和行	小児循環器・腎臓科	助教 (学内講師)	17年	
米田 一仁	眼科	助教	15年	
益田 浩司	皮膚科	講師	19年	
中西 弘之	泌尿器科	助教 (学内講師)	21年	
中野 宏	耳鼻咽喉科	講師	20年	
中前 貴	精神科・心療内科	助教 (学内講師)	12年	
後藤 真理子	放射線科	助教 (学内講師)	14年	
中山 力恒	麻酔科	助教	10年	
深澤 圭太	疼痛・緩和ケア科	助教 (学内講師)	20年	
大橋 鈴世	リハビリテーション科	助教 (学内講師)	19年	
金村 成智	歯科	病院教授	31年	
太田 凡	救急医療科	教授	27年	
小西 英一	病理診断科	准教授	29年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 吉村 了勇
管理担当者氏名	事務部長 荒田 均

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		診療情報管理室 各診療科外来 病棟 調剤室 フィルム庫 病院管理課	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年1月から電子カルテシステムを導入し、電子データでの管理を行っている。 手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の経過記録の要約等は、カルテに整理して、診療情報管理室に保管。 通院・入院中のアクティブカルテについては、各診療科の外来・病棟で保管。 処方箋は調剤室に、エックス線写真はフィルム庫で保管。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	経営企画課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院管理課	
	閲覧実績	病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	経営企画課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経営企画課 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項各号及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則 第一条の十一 第一項各号及び第九条の二十三 第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染対策部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部 医療安全管理部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院管理課長 吉田 周史	
閲覧担当者氏名	病院管理課副課長 堀井 孝	
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課 総務調整担当	
閲覧の手続の概要 閲覧請求者の住所、氏名、請求記録名、閲覧理由を聴取した上で、請求のあった記録を所管する部署から該当資料を取り寄せ、病院管理課内で閲覧に供する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">安全管理のための基本的な考え方安全管理のための組織医療事故発生時の対応医療事故及びインシデント報告制度職員の教育・研修及び啓発患者相談窓口	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">安全管理のための指針の策定及び変更院内で発生した医療事故、インシデントの調査分析、再発防止策の立案・実施安全管理のための教育・研修及び啓発の検討	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年17回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">患者が納得いく医療のために行うことインフォームド・コンセントと医療安全コミュニケーションエラー手術室における医療安全のキーポイント患者モニターの上手な使い方病院における苦情・クレーム対応	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療安全のための院内調査ラウンドの実施職員間での情報共有と注意喚起のための、インシデント事例等を掲載した「医療安全管理部レター」の発行インシデント事例を記載した「医療管理部ファイル」の作成、供覧人工呼吸器のリスク管理のための、チームによる院内ラウンドの実施	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(2名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(3名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">所属職員：専任(2)名 兼任(7)名活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医療事故、インシデントに係る報告のとりまとめ医療事故、インシデントの発生原因の調査、分析安全対策の実施状況、医療事故発生時の対応状況に関する調査、確認、指導安全管理のための教育、研修の実施安全対策の推進院内死亡事例の確認	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方<ul style="list-style-type: none">・ 院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項・ 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針・ 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容： 感染症発生状況（対応状況も含む）<ul style="list-style-type: none">・ MRSA等耐性菌の発生状況報告（対応状況も含む）・ 抗MRSA薬等の使用状況報告（適正使用に関する指導状況も含む）・ その他院内感染対策の推進に関する方策の検討	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年37回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 麻疹・ 結核・ HIV感染症・ 抗菌薬の適正使用・ デング熱	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容： 医師部門に「感染対策推進医師」を、看護部門に「リンクナース」をそれぞれ配置している。 感染症情報やその対応について、院内主要会議でのアナウンスを行い電子メール配信や電子カルテシステムの掲示板の活用等の手段により随時周知徹底を図っている。	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><全職員対象><ul style="list-style-type: none">医薬品安全管理セミナー「医薬品の適正使用や管理をめぐる事故・事件」感染対策研修会「抗菌薬の使い方」感染対策研修会「針刺し事故対応」<部門別><ul style="list-style-type: none">新人看護職員対象「医薬品の取扱い」手術室医師対象「麻薬・筋弛緩薬等の取扱い」	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (有・無)・ 業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none">業務手順書に基づく年 2 回の業務チェックと手順書の見直し院内ラウンド	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">医薬品安全管理委員会 (月 2 回、第 2・4 火曜日)アクシデント事例、ヒヤリハット事例の共有化と過誤防止策の立案・決定例) 注射薬ラベルへの、ルートやフィルターの選択に関する情報の追加	

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 1 5 回
研修の主な内容： ＜全職員対象＞ 医療安全研修会と協働し「上手に使おう患者監視装置」 ＜部門対象＞ 人工呼吸器、薬剤注入装置、患者モニターなど個別の病棟の特性に応じた研修会を実施 人工心肺装置などの関連医療従事者への研修 医療機器管理部内の新型装置に対する統一研修会、メーカー説明会など随時開催。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容：院内で管理する4800台の医療用電子機器、能動型医療機器に対してバーコード(クラス1)で選別化し、年2回の定期点検(性能試験)を委託会社により実施している。特定保守管理機器(人工心肺、補助循環装置、血液浄化装置など)はメーカー点検も含み年1回実施、除細動器(AED含む)は毎月1回以上行っている。点検後のデータは専用管理PCですべて個別管理(カルテ化)し、経年変化に対応している。これらの点検による年間の故障発見数は約50台、院内修理、廃棄更新に用いている。
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：医薬品医療機器総合機構(PMDA)の情報監視、メーカー発出製品情報、添付文書などの分類別の一元管理を実施。際立って関連する情報に対しては医療安全管理部と連携し、対象機器に関する注意勧告を学内メール、所属別に伝達、メーカー対処や改善への確認などを実施している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
<p>・評価を行った機関名：日本医療機能評価機構</p> <p>・評価を受けた時期：平成22年12月（認定期間：平成23年3月20日～平成28年3月19日）</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院ホームページに、本院の特定機能病院としての医療提供に係る特色、病院の理念・基本方針、各種指定の状況等について掲載し、情報発信を行っている。</p> <p>また、患者向け広報誌を発行（年3回）し、院内での取組等について、定期的に情報発信を行っている。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>外来では、消化器センター、循環器センター、呼吸器センターなど7つのセンターで、複数診療科が連携して診療対応に当たっている。</p>	